取扱説明書

プロジェクター

CP-X9110J/9111J
CP-WX9210J/9211J
CP-WU9410J/9411J

（形名：CP-X9110/CP-WX9210/CP-WU9410
CP-X9111/CP-WX9211/CP-WU9411）

【応用編】

この応用編では、詳細な設定や調節を行うメニューなどについて説明します。

⚠ 警 告 ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ

設定・調節…… 2 - 3
- メニュー機能の使いかた…… 2 - 3
- 簡単メニュー…… 2 - 5
- 映像メニュー…… 2 - 7
- 表示メニュー…… 2 - 12
- 入力メニュー…… 2 - 15
- 設置メニュー…… 2 - 19
- スケジュールメニュー…… 2 - 24
- スクリーンメニュー…… 2 - 26
- その他メニュー…… 2 - 32
- セキュリティメニュー…… 2 - 42

2画面表示…… 2 - 49

簡易スタック…… 2 - 53
- はじめに…… 2 - 53
- 準備…… 2 - 55
- 設置…… 2 - 56
- スタックメニュー設定…… 2 - 63
- ケーブルを接続する…… 2 - 70
- メニューを使って入力端子の設定をする… 2 - 72
- スケジュール機能の制限について…… 2 - 76
- 故障かなと思ったら…… 2 - 77

お知らせ

●説明書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。
●説明書の運用結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●説明書の内容の一部、あるいは全部を無断で複写、転載しないでください。
●本書に記載している挿絵は、説明のための一例です。お客様のプロジェクターとは若干の相違がある場合があります。

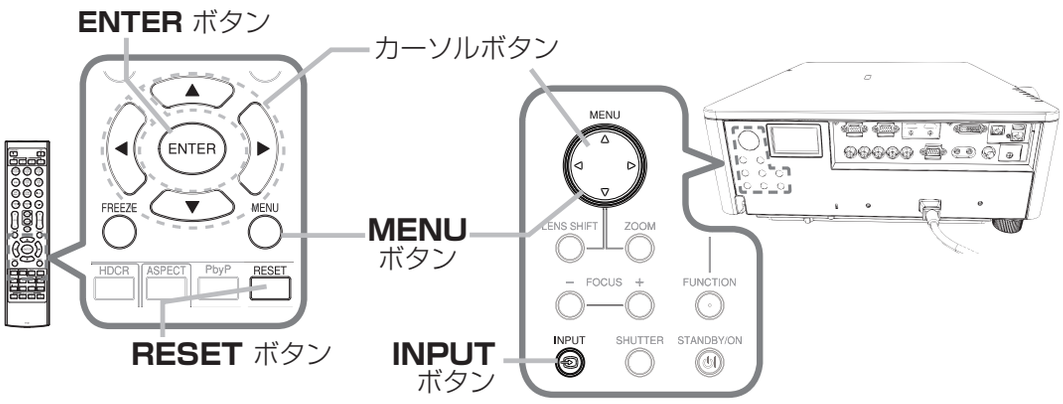
商標について：

• Mac®、Macintosh® および Mac OS® は Apple Inc. の登録商標です。
• Windows® 、DirectDraw® および Direct3D® は、米国またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。
• VESA および DDC (DDC/CI) は Video Electronics Standards Association の商標です。
• HDMI®、HDMI® ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface® は、HDMI Licensing LLC の米国およびその他の国における商標又は登録商標です。
• PJLink ロゴは、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
• Blu-ray™ および Blu-ray Disc™ は Blu-ray Disc Association の商標です。
• DICOM® は、National Electric Manufacturers Association による、医療情報のデジタル通信に関する規格における登録商標です。
• DLP® および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。
• HDBaseT ™および HDBaseT Alliancer ロゴは、HDBaseT Alliance の登録商標です。
その他の社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

設定・調節

メニュー機能の使いかた

本機には、**「映像」「表示」「入力」「設置」「スクリーン」「その他」「ネットワーク」「セキュリティ」「簡単メニュー」**のメニューがあります。
本機には、よく使われる機能をまとめた「簡単メニュー」と、その他のメニューに関しては「詳細メニュー」があります。どのメニューも基本操作は同様です。メニュー表示中に操作パネルの **MENU** ボタン (カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶) は、カーソルボタンとしてご使用いただけます。下記をご参考に操作してください。



1. はじめに、操作パネルの **MENU** ボタンまたはリモコンの **MENU** ボタンを押してください。「簡単メニュー」または「詳細メニュー」のどちらか、前回ご使用になっていた方のメニューが表示されます。電源を入れた後は必ず「簡単メニュー」が表示されます。

2. **簡単メニューの操作**

（1）カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選んでください。「詳細メニュー」に切り替えたいときは、「詳細メニュー」を選びます。
（2）カーソルボタン◀ / ▶で、選択した項目を設定、調節および実行することができます。

詳細メニューの操作

（1）カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選んでください。「簡単メニュー」に切り替えたいときは、「簡単メニュー」を選びます。
（2）カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、選択カーソルが右側に移ります。操作したい項目をカーソルボタン▲ / ▼で選択してください。カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、選択した項目を実行、もしくは操作するためのダイアログやサブメニューが表示されます。
（3）画面表示に従って操作してください。

（次ページにつづく）

3. メニュー操作を終了するには、もう一度リモコンの **MENU** ボタンを押すか、「終了」を選んでカーソルボタン◀または **ENTER**ボタンを押します。また、何も操作しない状態が約 30秒間続くと、自動的に終了します。

お知らせ

●メニューで使用できない機能に関しては、灰色表示で選択することができません。

メニューやダイアログなどのオンスクリーン表示の単語について

表示	動作
終了	これを選択すると、メニュー操作を終了します。 **MENU** ボタンを押すことと同じになります。
戻る	これを選択すると、前のメニューに戻ります。
初期化しない／いいえ	これを選択すると、現在の操作をキャンセルして、前のメニューに戻ります。
OK ／はい	これを選択すると、用意された機能を実行するか、次のメニューに移行します。

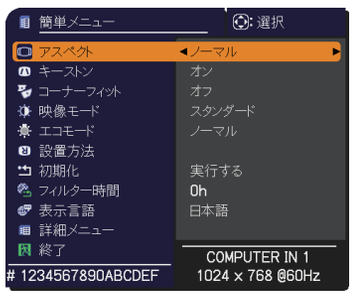
各メニューの項目

各メニューの項目は、以下となります。

設定項目	項目
簡単メニュー	アスペクト、キーストン、コーナーフィット、映像モード、エコモード、設置方法、初期化、フィルター時間、表示言語、詳細メニュー、終了
映像メニュー	明るさ、コントラスト、色の濃さ、色あい、画質、ピクチャークオリティ、HDCR、カラーホイール、アクティブアイリス、マイメモリー
表示メニュー	アスペクト、オーバースキャン、垂直位置、水平位置、クロック位相、水平サイズ、オートアジャスト実行
入力メニュー	プログレッシブ、VIDEO NR、色空間、ビデオフォーマット、デジタルフォーマット、デジタルレンジ、COMPUTER- イン、フレームロック、解像度、PbyP/PinP 設定
設置メニュー	キーストン、コーナーフィット、エッジブレンディング、ワーピング、ランプ & フィルター、設置方法、スタンバイモード、モニターアウト、スケジュール
スクリーンメニュー	表示言語、メニュー位置、ブランク、オートブランク、初期画面、マイスクリーン、マイスクリーンロック、OSD メッセージ、入力チャンネル名、テンプレート、C.C.
その他メニュー	チャンネルスキップ、オートサーチ、ダイレクトパワーオン、オートパワーオフ、シャッタータイマー、マイボタン、特別な設定
ネットワークメニュー	プロジェクター名、無線 LAN 設定、有線 LAN 設定、ネットワークインフォメーション、SNTP セットアップ、マイイメージ、AMX D.D.、プレゼンテーション、有線ネットワーク
セキュリティ	セキュリティパスワード変更、マイスクリーンパスワード、暗証コードロック、マイテキストパスワード、マイテキスト表示、マイテキスト入力、セキュリティインジケータ、スタックロック

簡単メニュー

簡単メニューでは、下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
アスペクト（画面の縦横比）	カーソルボタン◀ / ▶で、アスペクト（画面の縦横比）を選択できます。 詳細は、「表示」メニューの「 アスペクト 」(🕮**2-12**) をご参照ください。
キーストン	カーソルボタン▶を押すと、調整ができます。 詳細は、「画面のひずみを補正する」の「キーストン」(🕮**1-44**) をご参照ください。
コーナーフィット	カーソルボタン▶を押すと、「コーナーフィット」ダイアログを表示します。詳細は、「画面のひずみを補正する」の「コーナーフィット」(🕮**1-44**) をご参照ください。
映像モード	カーソルボタン◀ / ▶で、映像モードを選択できます。 映像モードは、ガンマモード、色温度モードと ACCENTUALIZER の組み合わせです。下表をご参考に、映像に合わせてお選びください。 スタンダード ⇔ ナチュラル ⇔ シネマ ⇔ ダイナミック ⇕ ⇕ ユーザー -3 黒板（黒） ⇕ ⇕ ユーザー -2 黒板 (緑) ⇕ ⇕ ユーザー -1 ⇔ DICOM SIM. ⇔ デイタイム ⇔ ホワイトボード ユーザー -1、-2、-3 の詳細は、「ピクチャー クオリティ」をご参照ください。

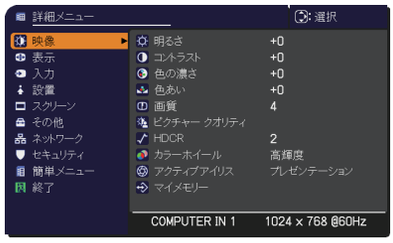
（次ページにつづく）

簡単メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
映像モード（つづき）	●映像モードを選択した瞬間に、ノイズが発生することがありますが故障ではありません。 ●「DICOM SIM.」は、本機における、DICOM® (Digital Imaging and Communication in Medicine) 近似表示モードです。このモードは DICOM 規格での規定に近似して表示します。本機は医療用機器ではなく、また、DICOM 規格に準拠しておりませんので、実際の診断などの医療行為にはご利用頂けません。
エコモード	カーソルボタン◀ / ▶で、本機使用中のエコモードを選択できます。 詳細は、「設置」メニューの「ランプ & フィルター」（📖**2-20**）をご参照ください。
設置方法	カーソルボタン◀ / ▶で、映像を上下左右に反転させることができます。 詳細は、「設置」メニューの「設置方法」（📖**2-23**）をご参照ください。
初期化	「簡単メニュー」の設定を一括して初期化できます。 カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、確認のダイアログが表示されます。 **初期化しない → OK** 初期化を実行するときは、カーソルボタン▶を押して「OK」を選択してください。 ●「フィルター時間」と「表示言語」は初期化されません。
フィルター時間	メニューに表示されている数字は、エアーフィルターの使用時間です。 カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、フィルター時間初期化確認のダイアログが表示されます。 フィルター時間の初期化については、「設置」メニューの「ランプ & フィルター」（📖**2-20**）をご参照ください。
表示言語	カーソルボタン◀ / ▶で、メニューなどのオンスクリーン表示の表示言語を選択できます。 詳細は、「スクリーン」メニューの「表示言語」（📖**2-26**）をご参照ください。
詳細メニュー	カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、「簡単メニュー」を「詳細メニュー」（「映像」、「表示」、「入力」、「設置」、「スクリーン」、「その他」、「ネットワーク」、「セキュリティ」メニュー）に切り替えられます。
終了	カーソルボタン◀または **ENTER** ボタンを押すと、操作を終了し、メニューを閉じます。

映像メニュー

「映像」メニューでは、表示中の映像設定について下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。
下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
明るさ	カーソルボタン◀ / ▶で、映像の明るさを調節できます。 **暗く ↔ 明るく**
コントラスト	カーソルボタン◀ / ▶で、コントラストを調節できます。 **弱く ↔ 強く**
色の濃さ	カーソルボタン◀ / ▶で、色の濃さを調節できます。 **淡く ↔ 濃く** ●ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を受信しているときのみ調節できます。 ● HDMI® 、HDbaseT ™、DVI-D 信号受信時は、以下の（1）または（2）の条件を満たす際に調整可能です。 （1）「入力」メニューの「デジタルフォーマット」（📖**2-16**）を「VIDEO」に設定している場合。 （2）「入力」メニューの「デジタルフォーマット」（📖**2-16**）を「オート」に設定している場合。ただし、本機がフォーマットを「VIDEO」と認識した場合。
色あい	カーソルボタン◀ / ▶で、色あいを調節できます。 **赤っぽく ↔ 緑っぽく** ●ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号、HDMI® 信号を受信しているときのみ調節できます。 ● HDMI® 、HDbaseT ™、DVI-D 信号受信時は、以下の（1）または（2）の条件を満たす際に調整可能です。 （1）「入力」メニューの「デジタルフォーマット」（📖**2-16**）を「VIDEO」に設定している場合。 （2）「入力」メニューの「デジタルフォーマット」（📖**2-16**）を「オート」に設定している場合。ただし、本機がフォーマットを「VIDEO」と認識した場合。
画質	カーソルボタン◀ / ▶で、画質を調節できます。 **やわらかく ↔ くっきり** ●調節した瞬間にノイズが発生したり、画面が一瞬消えたりすることがありますが、故障ではありません。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
ピクチャー クオリティ	本項目を選択しますと、「ピクチャー クオリティ」のメニューが表示されます。 カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。
	映像モード スタンダード ⇔ ナチュラル ⇔ シネマ ⇔ ダイナミック ⇕ ⇕ ユーザー -3 黒板（黒） ⇕ ⇕ ユーザー -2 黒板 (緑) ⇕ ⇕ ユーザー -1 ⇔ DICOM SIM. ⇔ デイタイム ⇔ ホワイトボード ユーザー -1、-2、-3 を選択後、以下の機能調整が可能です。 **ガンマ**、**色温度**、ACCENTUALIZER
	ガンマ 本機能は、ユーザー -1/-2/-3 が選択されていることで調整可能です。 カーソルボタン▲ / ▼でガンマモードを切り替えます。 **デフォルト -1 ⇔カスタム -1 ⇔デフォルト -2 ⇔カスタム -2** ⇕ ⇕ **カスタム -8 デフォルト -3** ⇕ ⇕ **デフォルト -8 カスタム -3** ⇕ ⇕ **カスタム -7 デフォルト -4** ⇕ ⇕ **デフォルト -7 カスタム -4** ⇕ ⇕ **カスタム -6 ⇔デフォルト -6 ⇔カスタム -5 ⇔デフォルト -5**

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
ピクチャークオリティ（つづき）	**ガンマ**（つづき） カスタムモード（“カスタム”のつくモード）を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、調節メニューが表示されます。この機能を使うと、特定の階調の明るさを変更できます。 カーソルボタン◀ / ▶で調節したい項目を選択し、カーソルボタン▲ / ▼でレベルを調節してください。 カスタムモード調節メニューを表示している間に **ENTER** ボタンを押すと、以下のようなテストパターンが表示されます。テストパターンは **ENTER** ボタンを押すたび以下のように変更できます。 **パターンなし → グレイスケール（9 ステップ）** **↑ ランプ波形 ← グレイスケール（15 ステップ）** 8 つの調節バーは、テストパターン（9 ステップ）の最も暗い階調（左端）を除く 8 つの階調に対応しています。例えばテストパターン上の左から 2 番目の階調を調節したい場合、それに対応する「1」の調節バーを使用します。テストパターン左端の最も暗い階調は調節できません ●調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。
	色温度 本機能は、ユーザー -1/-2/-3 が選択されていることで調整可能です。 カーソルボタン▲ / ▼で色温度モードを切り替えます。 **高 ⇔ カスタム -1 ⇔ 中 -1 ⇔ カスタム -2 ⇔ 中 -2 ⇔ カスタム -3 ⇔ 低** **⇕ ⇕** **カスタム -7 カスタム -4** **⇕ ⇕** **ハイブライト -3 ⇔ カスタム -6 ⇔ ハイブライト -2 ⇔ カスタム -5 ⇔ ハイブライト -1** カスタムモード（“カスタム”のつく各モード）を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、選択したモードのオフセットとゲインを調節するメニューが表示されます。この調節機能を使うと、オフセット調節は、テストパターンの全階調の色温度を変更できます。またゲイン調節は、主にテストパターンの明るい階調の色温度を変更できます。 カーソルボタン◀ / ▶で各色のオフセットまたはゲインを選び、カーソルボタン▲ / ▼でレベルを調節してください。 カスタムモード調節メニューを表示している間に **ENTER** ボタンを押すと、テストパターンが表示されます。テストパターンは **ENTER** ボタンを押すたび以下のように変更できます。 **パターンなし → グレイスケール（9 ステップ）** **↑ ランプ波形 ← グレイスケール（15 ステップ）** ●調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。

（次ページにつづく）

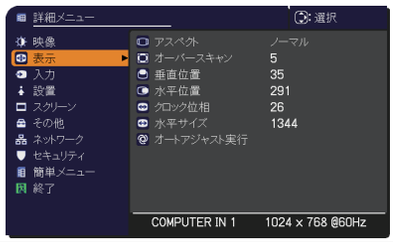
設定項目	操作内容
ピクチャークオリティ（つづき）	ACCENTUALIZER 本機能は、ユーザー-1/-2/-3 が選択されていることで調整可能です。 本機能は、読みやすさを向上させるための機能です。 カーソルボタン◀ / ▶で調整します。 **弱く ↔ 強く** ●調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。
HDCR	明るい部屋でよりはっきりとした映像にするための機能です。 カーソルボタン◀ / ▶で調整します。
カラーホイール	カーソルボタン▲ / ▼でカラーホイールを切り替えます。 **高輝度 ↔ 高色彩** **高輝度**：光量を強くし、明るくします。 **高色彩**：色を一層引き立てます。
アクティブアイリス	カーソルボタン▲ / ▼で、アクティブアイリスモードを切り替えられます。 **プレゼンテーション ↔ シアター ↔ オフ** ■**「プレゼンテーション」モード**：映像に白ピーク映像が無い場合にアイリスを閉じます。プレンゼンテーション映像に適しています。 ■**「シアター」モード**：映像の平均的な明るさに連動してアイリスを制御します。自然画、動画の表示に適しています。 ■**「オフ」モード**：アクティブアイリスは常時オープンです。 ●「プレゼンテーション」および「シアター」モードを選択した場合に画面にフリッカーが見えることがあります。 気になる場合は「オフ」を選択してください。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
マイメモリー	本機は 1 から 4 の番号のついた 4 つのメモリを備えており、「映像」メニューの設定を最大 4 組まで記憶保存することができます。 カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、選択した項目の機能を実行します。 **セーブ -1 ↔ セーブ -2 ↔ セーブ -3 ↔ セーブ -4** **↕ ↕** **ロード -4 ↔ ロード -3 ↔ ロード -2 ↔ ロード -1** **■セーブ操作** 「セーブ -1」、「セーブ - 2」、「セーブ - 3」、「セーブ - 4」を実行すると、対応する番号のメモリに現在の「映像」メニューの全設定データを記憶します。 ●既にデータが記憶されているメモリにセーブ操作を行うと、メモリにデータが上書きされますのでご注意ください。 **■ロード操作** 「ロード -1」、「ロード - 2」、「ロード - 3」、「ロード - 4」を実行すると、対応する番号のメモリからデータを呼び出し、そのデータに応じて映像を自動調整します。 ●対応する番号のメモリに設定データが記憶されていない場合は選択できません。 ●ロード操作を行うと、メモリに記憶されている設定が現在の設定に上書きされますので、ご注意ください。現在の設定を保存したいのであれば、ロード操作を行う前にセーブ操作を行ってください。 ●ロード操作を行った瞬間にノイズが発生したり、画面が一瞬消えたりすることがありますが故障ではありません。 ● **MY BUTTON（1 ～ 4）**を押してロード操作を行うこともできます。詳細は「その他」メニューの「マイボタン」（📖**2-34**）をご覧ください。

表示メニュー

「表示」メニューでは、表示画面に関する下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
アスペクト（画面の縦横比）	カーソルボタン▲ / ▼で、アスペクト（画面の縦横比）を選択できます。 **■コンピュータ信号を表示しているとき** <CP-X9110J/9111J> ノーマル ↔ 4 : 3 ↔ 16 : 9 ↔ 16 : 10 <CP-WX9210J/9211J、CP-WU9410J/9411J> ノーマル ↔ 4 : 3 ↔ 16 : 9 ↔ 16 : 10 ↔ リアル **■ HDMI® 信号を表示しているとき** <CP-X9110J/9111J> ノーマル ↔ 4 : 3 ↔ 16 : 9 ↔ 16 : 10 ↔ 14 : 9 <CP-WX9210J/9211J、CP-WU9410J/9411J> ノーマル ↔ 4 : 3 ↔ 16 : 9 ↔ 16 : 10 ↔ 14 : 9 ↔ リアル **■ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を表示しているとき** <CP-X9110J/9111J> 4 : 3 ↔ 16 : 9 ↔ 14 : 9 <CP-WX9210J/9211J、CP-WU9410J/9411J> 4 : 3 ↔ 16 : 9 ↔ 16 : 10 ↔ 14 : 9 ↔ リアル **■ LAN 端子からの信号を表示しているときまたは信号の入力がないとき** <CP-X9110J/9111J> 4 : 3（固定） <CP-WX9210J/9211J、CP-WU9410J/9411J> 16 : 10（固定） お知らせ ●「ノーマル」は入力信号そのままの縦横比です。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
オーバースキャン	カーソルボタン◀ / ▶で、オーバースキャン（表示率）を調節できます。 **小さく**（画像は大きくなります） ↔ **大きく**（画像は小さくなります） ●ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号、HDMI® 信号を受信しているときのみ調節できます。 ● HDMI® 、HDbaseT ™、DVI-D 信号受信時は、以下の（1）または（2）の条件を満たす際に調整可能です。 （1）「入力」メニューの「デジタルフォーマット」（🕮**2-16**）を「VIDEO」に設定している場合。 （2）「入力」メニューの「デジタルフォーマット」（🕮**2-16**）を「 オート 」に設定している場合。ただし、本機がフォーマットを「VIDEO」と認識した場合。
垂直位置	カーソルボタン◀ / ▶で、画面の位置を上下に調節できます。 **下へ ↔ 上へ** ●位置を動かしすぎると、画像のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、**RESET** ボタンを押して初期設定に戻してください。 ●ビデオ信号を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」（🕮**2-13**）の設定に依存します。「オーバースキャン」が 10 に設定されている場合は、調節できません。 ● **LAN** 端子、**HDMI 1 ／ 2** 端子、**HDBaseT ™**、**DVI-D** からの映像信号を受信している時は調節できません。
水平位置	カーソルボタン◀ / ▶で、画面の位置を左右に調節できます。 **右へ ↔ 左へ** ●位置を動かし過ぎると画面のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、**RESET** ボタンを押して初期設定に戻してください。 ●ビデオ信号を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」（🕮**2-13**）の設定に依存します。「オーバースキャン」が 10 に設定されている場合は、調節できません。 ● **LAN** 端子、**HDMI 1 ／ 2** 端子、**HDBaseT ™**端子、**DVI-D** 端子からの映像信号を受信している時は調節できません。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
クロック位相	カーソルボタン◀ / ▶で、クロック位相を調節し、画面のちらつきを低減できます。 **右へ ↔ 左へ** ●コンピュータ信号、コンポーネントビデオ信号を受信しているときのみ調節が可能です。**LAN** 端子、**HDMI 1** ／ **2** 端子、**HDBaseT ™**端子、**DVI-D** 端子からの映像信号を受信している時は調節できません。
水平サイズ	カーソルボタン◀ / ▶で、画面の横幅を調節できます。 **小さく ↔ 大きく** ●コンピュータ信号、コンポーネントビデオ信号を受信しているときのみ調節が可能です。**LAN** 端子、**HDMI 1** ／ **2** 端子、**HDBaseT ™**端子、**DVI-D** 端子からの映像信号を受信している時は調節できません。 ●大きくしすぎたり小さくしすぎたりすると、映像が正しく表示されない場合があります。このような場合には、**RESET** ボタンを押して初期設定に戻してください。 ●調節時に映像が劣化してみえる場合がありますが、故障ではありません。
オート アジャスト 実行	カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、画面の自動調整を実行できます。 **■コンピュータ信号を受信している場合** 「垂直位置」（📖**2-13**）、「水平位置」（📖**2-13**）、「クロック位相」（📖**2-14**）が自動的に調整されます。コンピュータで、アプリケーションのウィンドウを最大化表示して実行してください。また、暗い映像では正しく調整されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。 **■ビデオ信号を受信している場合** 「入力」メニューの「ビデオフォーマット」（📖**2-16)** が「オート」に設定されていると、受信している信号に最適な信号方式が自動的に選択されます。 「垂直位置」「水平位置」が自動的に初期設定に戻ります。 **■コンポーネントビデオ信号を受信している場合** 「垂直位置」、「水平位置」、「クロック位相」が自動的に初期設定に戻ります。 ●自動調整には 10 秒程度の時間がかかることがあります。また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。 ●ビデオ信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、画面の端に線などが映る場合があります。 ●コンピュータ信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、コンピュータのモデルによっては画面の縁に黒いフレームが映る場合があります。 ●「その他」メニューの「特別な設定」ー「オートアジャスト」（📖**2-35**）で、「詳細」または「無効」が設定されていると、自動調整される項目が変わります。

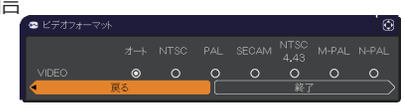
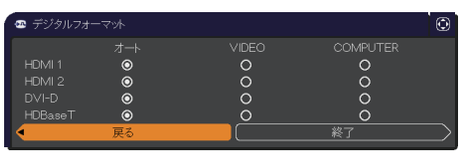
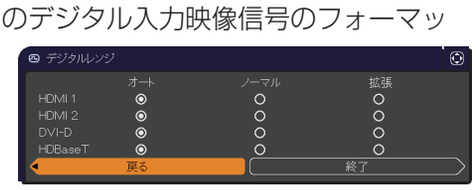
（次ページにつづく）

入力メニュー

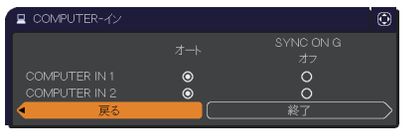
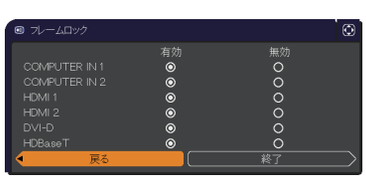
「入力」メニューでは、入力信号に関する下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

設定項目	操作内容
プログレッシブ	カーソルボタン▲ / ▼で、プログレッシブモードを選択できます。 **TV ↔ フィルム ↔ オフ** ●この機能は、ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号のうち 480i@60、576i@50、1080i@50/60、HDMI® 信号のうち 480i@60、576i@50、1080i@50/60、HDBaseT ™のうち 480i@60、576i@50、1080i@50/60、そして DVI-D のうち 480i@60、576i@50、1080i@50/60 を受信している場合に動作します。 ●「TV」、「フィルム」を選択すると、より鮮明な映像になります。「フィルム」は 2-3 プルダウン変換システムに適応しますが、物体がすばやく移動するシーンで線がギザギザになるなど、表示に不具合が出ることがあります。このような場合には「オフ」を選択してください。
VIDEO NR	カーソルボタン▲ / ▼で、映像ノイズの低減レベルを選択できます。 **強 ↔ 中 ↔ 弱** ●この機能は、ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号のうち 480i@60、576i@50、1080i@50/60、HDMI® 信号のうち 480i@60、576i@50、1080i@50/60、HDBaseT ™のうち 480i@60、576i@50、1080i@50/60、そして DVI-D のうち 480i@60、576i@50、1080i@50/60 を受信している場合に動作します。
色空間	カーソルボタン▲ / ▼で、色空間モードを選択できます。 **オート ↔ RGB ↔ SMPTE240 ↔ REC709 ↔ REC601** ●コンピュータ信号、コンポーネントビデオ信号を受信しているときのみ選択が可能です。**LAN** 端子からの映像信号を受信している時は選択できません。 ●「オート」を選択すると適切なモードが自動的に選択されます。 ●信号によっては「オート」が正しく動作しない場合があります。このような場合には、「オート」以外で入力信号に合う設定を選択してください。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
ビデオ フォーマット	VIDEO 端子から受信する映像信号のビデオフォーマット（信号方式）を設定できます。 カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子から受信する映像信号のビデオフォーマットを選択してください。  **オート ↔ NTSC ↔ PAL ↔ SECAM ↔ NTSC 4.43 ↔ M-PAL ↔ N-PAL** ●この機能は、通常、VIDEO 端子からの映像信号を受信しているときのみ動作します。 ●「オート」を選択すると、入力信号のビデオフォーマットが自動的に選択されます。 ●入力信号によっては正しく機能しない場合があります。画像が不安定な場合（画像が乱れる、色がつかないなど）には、オート以外で、入力信号に合った信号モードを選択してください。
デジタル フォーマット	HDMI 1 ／ 2 端子、DVI-D または HDBaseT ™からのデジタル入力映像信号のフォーマットを 選択できます。 1）カーソルボタン▲ / ▼で、フォーマットを選択します。  2）カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子から受信する映像信号のフォーマットを選択します。 **オート ↔ VIDEO ↔ COMPUTER** ■**「オート」**：入力信号の HDMI® フォーマットが自動的に選択されます。 ■**「VIDEO」**：DVD の信号として映像処理を行います。 ■**「COMPUTER」**：コンピュータ信号として映像処理を行います。 **お知らせ** ●「COMPUTER」を選択しているときは「色の濃さ」（📖**2-7**）、「色あい」（📖**2-7**）、「オーバースキャン」（📖**2-13**）の調節はできません。
デジタル レンジ	HDMI 1 ／ 2 端子、DVI-D, または HDBaseT ™からのデジタル入力映像信号のフォーマットを 選択できます。 1）カーソルボタン▲ / ▼で、フォーマットを選択します。 2）カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子から受信する映像信号のデジタル信号モードを選択します。  **オート ↔ ノーマル ↔ 拡張** ■**「オート」**：自動的に入力信号レベルに合わせます。 ■**「ノーマル」**：DVD 信号レベル（16-235）に合わせます。 ■**「拡張」**：コンピュータ信号レベル（0-255）に合わせます。 映像のコントラストが強すぎたり弱すぎたりするときに、この設定を切り替えると改善される場合があります。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
COMPUTER- イン	COMPUTER IN1 ／ 2 端子から入力される映像信号（コンピュータ信号）の信号受信モードを設定できます。  1) カーソルボタン▲ / ▼で、設定する入力端子を選択します。 2) カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子から入力される映像信号の受信モードを選択してください。 **オート ↔ SYNC ON G オフ** ●「オート」モードに設定すると、その端子からの SYNC ON G 信号、およびコンポーネントビデオ信号を受信できるようになります。 ●正常な入力信号が検出されないときに「SYNC ON G オフ」モードに設定する場合は、いったん信号ケーブルを外して無信号の状態にし、「SYNC ON G オフ」に設定してから、信号を再入力してください。
フレームロック	フレームロック機能は、動画をよりスムーズに表示する為の機能です。 各端子から入力される映像信号のフレームロック機能の有効 / 無効が設定できます。 1) カーソルボタン▲ / ▼で、設定する入力端子を選択します。 2) カーソルボタン◀ / ▶で、フレームロック機能の有効 / 無効を選択してください。 **有効 ↔ 無効** ●この機能は、垂直周波数が 49 ～ 51、59 ～ 61Hz の信号を受信しているときのみ有効です。 

（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>操作内容</th></tr>
<tr><td>解像度</td><td>COMPUTER IN1 ／ 2 端子から入力される映像信号の解像度を設定できます。
カーソルボタン▲ / ▼で設定したい解像度を選択します。
（1）「入力」メニューから「解像度」をカーソルボタン▲ / ▼で選択し、カーソルボタン▶を押します。「解像度」メニューが表示されます。
（2）メニューから選択します。
「オート」は、入力信号に適切な解像度が自動的に設定されます。
（3）「標準」選択の場合は、設定された解像度に合わせて「水平位置」、「垂直位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整されます。
入力 _ 情報ダイアログが表示されます。
（4）「カスタム」選択の場合は、「解像度 _ カスタム」設定ダイアログが表示されます。カーソルボタン◀ / ▶でカーソルを移動させながら、カーソルボタン▲ / ▼で、「水平」と「垂直」の解像度を入力してください。本機能は、全ての解像度をサポートしていません。
（5）入力が終わりましたら、カーソルを「OK」に置き、カーソルボタン▶または ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押してください。「解像度設定を変更しますか？」というメッセージが表示されます。変更した設定を保存するには、カーソルボタン▶を押してください。設定された解像度に合わせて「水平位置」、「垂直位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整されます。
入力__情報ダイアログが表示されます。
（6）設定を保存せずに以前の解像度に戻る場合は、カーソルを「取消」に置き、カーソルボタン◀または ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押してください。設定は変更されず、「解像度」メニューに戻ります。
●すべての解像度が保証されているわけではありません、信号によっては正しく動作しない場合があります。

標準
⇩

カスタム
⇩

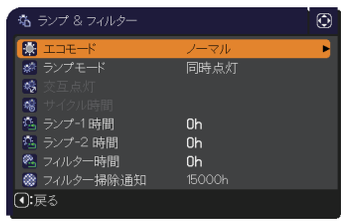
 </td></tr>
<tr><td rowspan="2">PbyP/PinP 設定</td><td>PinP 位置
リモコンのカーソルボタン▲ / ▼で PinP 位置モードにて、サブエリアの位置を切り替えます。</td></tr>
<tr><td>PbyP/PinP フレームロック
PbyP または PinP 使用時に、フレームロック機能を適用する画面を選択します。
左 / 親画面：PbyP 画面の左側、または PinP の親画面にフレームロックを適用します。
右 / 子画面：PbyP 画面の右側、または PinP の子画面にフレームロックを適用します。</td></tr>
</table>

設置メニュー

「設置」メニューでは、設置状態に関する下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶またはENTERボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

設定項目	操作内容
キーストン	本項目選択後「キーストン」ダイアログが表示されます。 詳細は、「画面のひずみを補正する」の「キーストン」(📖**1-44**) をご参照ください。 ●できるだけズーム調節を WIDE（大きく表示）に調節してお使いください。ズーム調節が TELE（小さく表示）側に調節されていると、過補正となることがあります。 ●水平レンズシフトが真ん中に調節されていないと、正しく補正できないことがあります。 ●本項目は、「コーナーフィット」、「エッジブレンディング」、「ワーピング」を調節しているときは選択できません。
コーナーフィット	本項目選択後「コーナーフィット」ダイアログが表示されます。 詳細は、「画面のひずみを補正する」の「コーナーフィット」(📖**1-44**) をご参照ください。 ●本項目は、「キーストン」、「エッジブレンディング」、「ワーピング」を調節しているときは選択できません。
エッジブレンディング	本項目選択後「エッジブレンディング」ダイアログが表示されます。 詳細は、「エッジブレンディング」機能（📖**1-46～49**) をご参照ください。
ワーピング	本項目選択後「ワーピング」ダイアログが表示されます。 詳細は、アプリケーションマニュアルをご参照ください。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
ランプ & フィルター	本項目選択後「ランプ & フィルター」メニューが表示されます。 カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または**ENTER**ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。 
	エコモード カーソルボタン▲ / ▼で、エコモードを切り替えます。 **ノーマル ↔ エコ** 「エコ」モードを選択すると、本機使用中の消費電力を抑え、動作音を低減できます。
	ランプモード カーソルボタン▲ / ▼で、ランプモードを切り替えます。 **同時点灯** ↔ **交互点灯** ↕ ↕ **ランプ -2** ↔ **ランプ -1** **同時点灯** ：両方のランプを同時に点灯します。 **交互点灯** ：「交互点灯」の設定にもとづいて交互に点灯します。 **ランプ -1**：ランプ -1 のみを点灯します。 **ランプ -2**：ランプ -2 のみを点灯します。
	交互点灯 カーソルボタン▲ / ▼で、ランプモードを切り替えます。 **オート ↔ サイクル時間** **オート** ：起動毎に、もっとも起動時間が少ないランプから点灯します。 または、起動時間が少ないランプの点灯が 5 回連続で同じランプの場合は、次回点灯時は起動時間の長いランプを点灯します。 **サイクル時間** ：サイクル時間の設定にもとづいて、自動的にランプが切り替わります。 ●本項目は、「ランプモード」で「交互点灯 」が選択されているときのみ有効です。

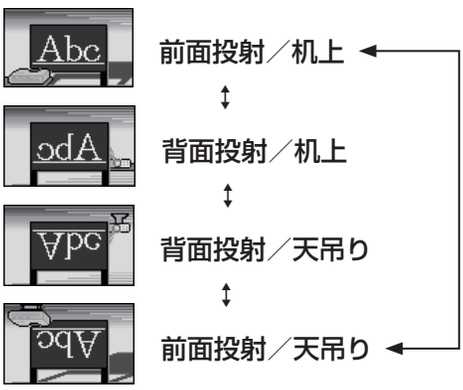
（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
ランプ & フィルター （つづき）	**サイクル時間** カーソルボタン▲ / ▼で、「サイクル時間」を切り替えます。 **6時間 ↔ 12時間 ↔ 18時間 ↔ 24時間 ↔ 1週間** ランプは、本項目の設定により切り替わります。 ●本項目は、「ランプモード」で「交互点灯 」が「サイクル時間」に設定されているときのみ有効です。
	ランプ - 1時間 初期、または前回ランプ時間を初期化した時から現在までのランプ -1 の点灯時間を 1 時間単位で表示します。「ランプ&フィルター」メニューにてご確認できます。 RESET ボタンまたはカーソルボタン▶を押すと、ランプ時間初期化確認ダイアログが表示されます。 カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、ランプ時間を初期化することができます。 **初期化しない → OK** ●ランプを交換したときは必ずランプ時間を初期化してください。ランプの交換に合わせて初期化しないと、実際のランプの使用時間とランプ時間の値が一致しません。 ●ランプ交換の際は必ず「ランプを交換する」（🕮**1-53, 54**）をお読みください。 ●ステータスモニターでもランプ時間を確認することができます。
	ランプ - 2時間 初期、または前回ランプ時間を初期化した時から現在までのランプ -2 の点灯時間を 1 時間単位で表示します。「ランプ&フィルター」メニューにてご確認できます。 RESET ボタンまたはカーソルボタン▶を押すと、ランプ時間初期化確認ダイアログが表示されます。 カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、ランプ時間を初期化することができます。 **初期化しない → OK** ●ランプを交換したときは必ずランプ時間を初期化してください。ランプの交換に合わせて初期化しないと、実際のランプの使用時間とランプ時間の値が一致しません。 ●ランプ交換の際は必ず「ランプを交換する」（🕮**1-53, 54**）をお読みください。 ●ステータスモニターでもランプ時間を確認することができます。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
ランプ & フィルター （つづき）	**フィルター時間** 初期、または前回フィルター時間を初期化した時から現在までの使用時間を 1 時間単位で表示します。「ランプ&フィルター」メニューにてご確認できます。 **RESET** ボタンまたはカーソルボタン▶を押すと、フィルター時間初期化確認ダイアログが表示されます。 カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、ランプ時間を初期化することができます。 **初期化しない → OK** ●エアーフィルターを掃除または交換したときは必ずフィルター時間を初期化してください。エアーフィルターの掃除または交換に合わせて初期化しないと、実際の稼働時間とフィルター時間の値が一致せず、また、エアーフィルターの掃除時期をお知らせするメッセージが正しく表示されません。 ●エアーフィルターの掃除または交換については、「エアーフィルターを掃除／交換する」（🕮1-56）をお読みください。 ●ステータスモニターでもフィルター時間を確認することができます。
	フィルター掃除通知 カーソルボタン▲ / ▼で、エアーフィルターの掃除時期をお知らせするメッセージが表示されるまでの時間を設定できます。 **1000h ↔ 2000h ↔ 5000h ↔ 10000h ↔ 15000h ↔ 無効** エアーフィルターを清潔に保てるよう、本機のご使用環境に合わせて設定してください。「無効」以外を設定すると、フィルター時間の値が設定した時間に達したとき、エアーフィルターの掃除をお願いするメッセージが表示されます。「無効」が設定されていると、このお知らせメッセージは表示されません。「**フィルター掃除通知**」をご使用環境にあわせて設定することで、フィルターをきれいに保つことができます。 ●お掃除メッセージが表示されなくても、エアーフィルターは定期的に掃除してください。エアーフィルターがホコリなどでつまると、本機の内部温度が上がり過ぎて、故障や本機の寿命を縮める原因となることがあります。 ●ご使用環境やエアーフィルターの状態に気を付けてご使用ください。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
設置方法	カーソルボタン▶を押すと、設置方法を選択するダイアログが表示されます。  ▲ / ▼で、画面の設置方法モードを選択し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。
スタンバイモード	カーソルボタン▲ / ▼で、本機がスタンバイ状態であるときの消費電力モードを選択できます。 **通常 ↔ 省電力** 「省電力」を選択すると、消費電力を下げることができますが、スタンバイ時の機能が以下のように制限されます。 - ネットワークに接続できません。 - パワーオン、およびスタンバイモードの切替以外の RS-232C コマンドの送受信ができなくなります。「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「通信タイプ」（🕮**2-38**）が「ネットワークブリッジ」に設定されている場合は、全ての RS-232C コマンドが送受信できません。 - **MONITOR OUT** 端子から信号が出力されなくなります。 - センタリング機能（🕮**1-40**）が動作しなくなります。 - ステータスモニターを操作できなくなります。 - HDMI リンクおよび HDBaseT 機能が使用できなくなります。
モニターアウト	以下の（1）より選択した入力端子を投射中に、（2）で選択した入力端子が **MONITOR OUT** 端子から出力されます。 （1）カーソルボタン▲ / ▼で、 映像信号の入力端子を選択してください。 本機がスタンバイ状態のときに出力される映像信号を設定するには、「スタンバイ」を選択してください。 （2）カーソルボタン◀ / ▶で、**COMPUTER IN1** ／ **2** 端子のどちらかを選択してください。 「オフ」を設定すると、その端子からの映像信号を表示中は、**MONITOR OUT** 端子から映像信号が出力されません。
スケジュール	以降のページをご参照ください。

（次ページにつづく）

スケジュールメニュー

本項目を設定することで、いくつかの機能を自動的に起動させることができます。

以下の手順に沿って「スケジュール」メニューを選択します。

1. カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶でメニューを選択します。

簡単メニュー ー詳細メニュー
設置ースケジュール ┬日付と時刻の設定
　　　　　　　　　 ├特定日
　　　　　　　　　 └プログラム編集

2. カーソルボタン▶で項目を選択します。

■ 項目の設定方法

1. カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で選択および調整をします。
2.「OK」選択し , 設定を終了します。

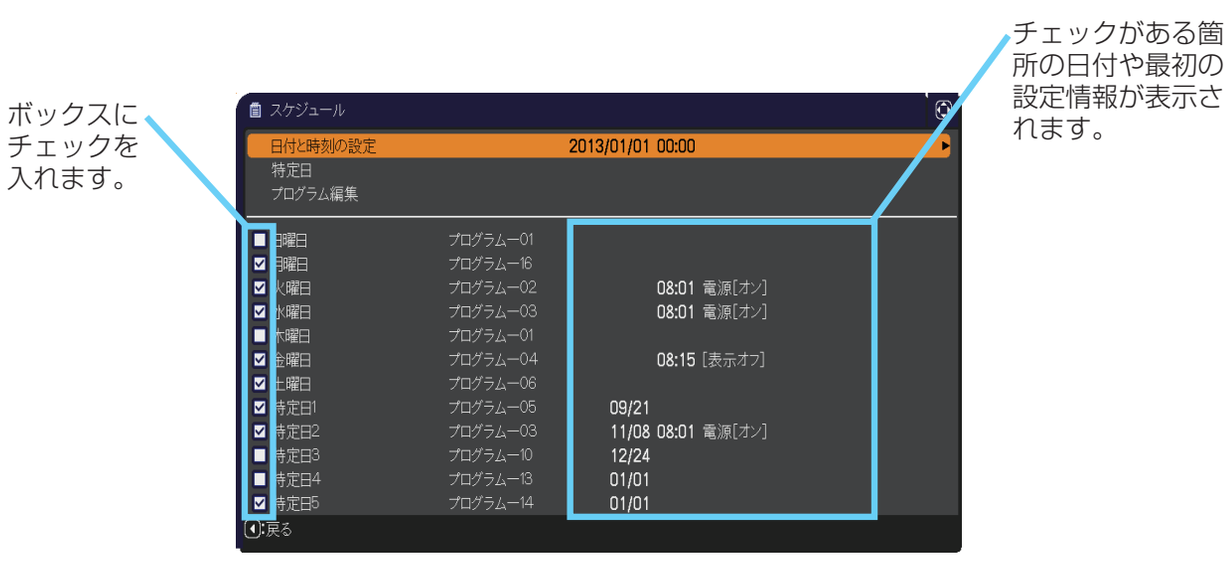
お知らせ

●適切な操作のために、実際の表示メニュー（OSD）に従って操作してください。

項目	内容
日付と 時刻の設定	日付（年 / 月 / 日）および時間（24 時間表記）を設定します。
特定日	特定日 1 から 5 を設定します。
プログラム編集	プログラム 1 から 16 の時間とイベントの編集ができます。

■ 適用方法

チェックボックスにチェックを入れます。



（次ページにつづく）

■ プログラム編集

プログラム 1 から 16 の時間とイベントの編集ができます。

- 戻る
  「スケジュール」メニューに戻ります。

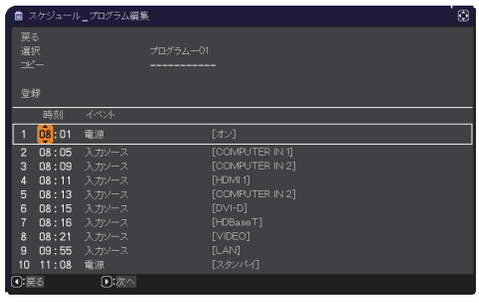
- 選択
  プログラム－ 01 から 16 を編集します。
  各プログラムは、20 まで設定が可能です。

- コピー
  選択したプログラム（時間およびイベントが設定済）は、他のプログラムへコピーできます。

- 登録
  調整および設定が全て登録されます。

■ 選択プログラムの編集方法

1. イベントの 1 ～ 20 から選択します。
   カーソルボタン▲ / ▼で選択します。カーソルボタン▶で時間とイベントを設定します。
2. カーソルボタン◀ / ▶で選択します。
3. カーソルボタン▲ / ▼で調整します。



「イベント」は、以下のなかから選択できます。

- 電源 – オン, スタンバイ
- 入力ソース – "入力ソース"チャンネルI
- マイイメージ – マイイメージ-1 から 12, 表示オフ
- メッセンジャー – テキスト-1から 12, 表示オフ
- エコモード – 標準モード, エコ
- ブランク – オン, オフ

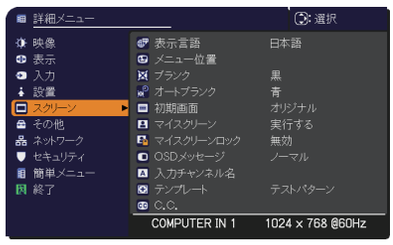
4. カーソルボタン▶で設定を終了します。
5.「登録」を選択すると、設定の保存ができます。

お知らせ

●適切な操作のために、実際の表示メニュー（OSD）に従って操作してください。

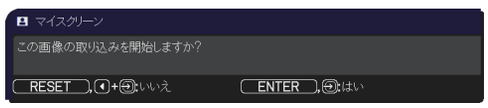
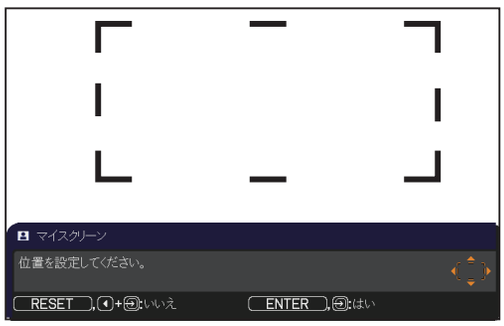
スクリーンメニュー

「スクリーン」メニューでは、スクリーン表示に関する下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
表示言語	カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、メニュー等の画面表示言語を選択できます。 ENGLISH ⇔ FRANÇAIS ⇔ DEUTSCH ⇔ ESPAÑOL ⇔ ..... (**表示言語ダイアログの表示**) ..... ⇔ 選択した表示言語を適用するには、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。
メニュー位置	カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、メニュー位置を調節できます。操作を終了するには、リモコンの **MENU** ボタンを押すか、約 10 秒間何も操作しないと終了します。
ブランク	カーソルボタン▲ / ▼で、ブランク画面を選択できます。 「ブランク画面」は一時的に表示される画面です。 **マイスクリーン ↔ オリジナル ↔ 青 ↔ 白 ↔ 黒** ■ **「マイスクリーン」**：「マイスクリーン」（📖**2-27**）で登録したお好みの映像が表示されます。 ■ **「オリジナル」**：本機の標準映像が表示されます。 ■ **「青、白、黒」**：各色の無地画面が表示されます。 ●本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「マイスクリーン」または「オリジナル」は数分で無地の画面に変わります。
オート ブランク	カーソルボタン▲ / ▼で、オートブランク画面を選択できます。 **青 ↔ 白 ↔ 黒** ●本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、以下の条件で「オートブランク」で指定のブランク画面色に数分後に画面が変わります。 －「マイスクリーン」もしくは「オリジナル」がブランク画面として表示されたとき。 －初期画面が表示されたとき。
初期画面	カーソルボタン▲ / ▼で、初期画面を選択できます。 「初期画面」は起動時の信号が安定するまでの間や、正常な信号が見つからない（入力信号が無い、入力信号が本機の仕様に合わないなど）ときに投映される映像です。 **マイスクリーン ↔ オリジナル ↔ 表示しない** ■ **「マイスクリーン」**：「マイスクリーン」（📖**2-27**）で登録したお好みの映像が表示されます。 ■ **「オリジナル」**：本機の標準映像が表示されます。 ■ **「表示しない」**：黒の無地画面が表示されます。 ●本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「初期画面」は「オートブランク」画面へ数分後に切り替わります。 ●マイスクリーンパスワード機能（📖**2-43**）が有効に設定されているときは、初期画面は「マイスクリーン」に固定されます。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
マイスクリーン	ブランク画面や初期画面用に、お好みの画像 (マイスクリーン) を登録することができます。 あらかじめ、登録したい映像信号を入力・選択してください。 1)「マイスクリーン」を選択してダイアログを表示させ、「マイスクリーン」に登録したい映像が画面に表示されるのを待って **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。  映像が静止し、登録する画像の位置を指定するための枠が表示されます。 タイミングを間違えた、他の画面を登録したい、という場合は **RESET** ボタンを押してください。 2) カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で登録する画像の位置を調節してください。(受信中の信号によっては、位置調節ができない場合があります。) 位置調節が終わったら、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押して画像の取り込みを開始してください。 画像の位置を元に戻したい、または前のダイアログに戻りたい場合は **RESET** ボタンを押してください。  画像の取り込みには数分ほどかかります。取り込みが完了すると、登録した画像と「マイスクリーンの画像登録が完了しました」のメッセージが数秒間表示され、通常画面に戻ります。 取り込みに失敗すると、「画像の取り込みエラーです。もう一度やり直してください。」のメッセージが数秒間表示されて通常画面に戻りますので、最初からやり直してください。 ●この項目は、「マイスクリーンロック」（📖**2-28**) が「有効」に設定されているときは選択できません。 ●この項目は、「マイスクリーンパスワード機能」（📖**2-43**）が「有効」に設定されているときは選択できません。 ● **LAN** 端子、**HDMI 1** ／ **2** 端子、**HDBaseT** ™端子、または **DVI-D** からの映像信号は、マイスクリーンに登録できません。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
マイスクリーンロック	カーソルボタン▲ / ▼で、マイスクリーンの上書き防止機能を設定できます。 **有効 ↔ 無効** 「有効」に設定すると、「マイスクリーン」の登録操作を禁止し、登録済みの映像を保護することができます。 ●この項目は、マイスクリーンパスワード機能（📖**2-43**）が有効に設定されているときは選択できません。
OSDメッセージ	カーソルボタン▲ / ▼で、メッセージモードを選択できます。 ノーマル ⇔ 限定 ⇔ 禁止 ■ **限定** : 以下のメッセージが表示されません。 ・「 オート 実行中 」 ・「 信号が入力されていません 」 ・「 信号が同期範囲外です 」 ・「入力信号が不安定です」 ・「操作できないボタンが入力されました」 ・「 検索中…」 ・「 信号検出中…」 ・「+++ZOOM+++」（ズームダイアログ） ・「+++FOCUS+++」（フォーカスダイアログ） ・入力切替による入力信号表示 ・アスペクトの変更による縦横比の表示 ・「映像モード」の変更による表示 ・「アクティブアイリス」の変更による表示 ・「マイメモリー」の変更による表示 ・**FREEZE** ボタンを押したときの「静止」 ・「テンプレート」の変更による表示 ・「 エコモード 」 ■ **禁止** : 全てのメッセージが表示されません。 以下のボタンのみが機能します。 **STANDBY, ON, SHUTTER, BLANK(MY BUTTON), FUNCTION** ステータスモニターは操作可能です。 • 本機能の切り替えは、以下の手順となります。 1. リモコンの **OSD** ボタンを 3 秒間ほど押します。 2.「禁止」の OSD が表示されます。 表示中にもう一回 **OSD** ボタンを押します。 3. ダイアログが表示され、切り替わります。 ノーマル ⇔ 限定 ⇔ 禁止

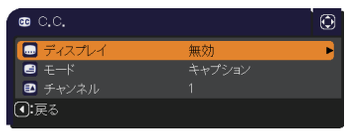
（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
入力 チャンネル名	本機の入力端子にチャンネル名（アイコン、番号、名称）を割り当てることができます。 1）カーソルボタン▲ / ▼で、「スクリーン」メニューの「入力チャンネル名」メニューを選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押してください。「入力チャンネル名」メニューが表示されます。 2）カーソルボタン▲ / ▼で、チャンネル名を付けたい端子を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押してください。カスタム入力チャンネル名ダイアログが表示されます。 3）カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、選択した端子に割り振りたいアイコンを選択し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。アイコンに応じた端子の名称が、右側の「 プレビュー 」に表示されます。カーソルボタン▲ / ▼で、選択した端子に割り振りたい番号を選択し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。 4）チャンネル名を決定するには、「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押します。 変更を保存しない場合は、「取消」にカーソルを合わせて、カーソルボタン◀または **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押します。 5）端子の名称を手動入力で変更したい場合は、「名称変更」を選択して **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。名称入力ダイアログが表示されます。 （次ページにつづく）

（次ページにつづく）

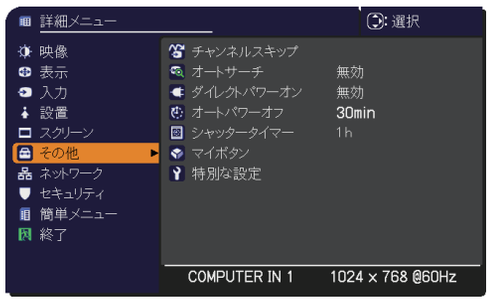
設定項目	操作内容
入力 チャンネル名 （つづき）	6）端子の名称を入力する 最初の行（下線付き）に現在の名称が表示されます。カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で各文字を選択し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押して入力してください。**RESET** ボタンを押す、またはカーソルボタン◀と **INPUT** ボタンを同時に押す、もしくは「消去」を選択して **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押すと、1文字削除することができます。また、「全消去」を選択して **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押すと、表示されている文字を全て削除することが出来ます。端子の名称は最大 16 文字入力できます。 7）端子の名称を編集する カーソルボタン▲ / ◀ / ▶で、名称が表示されている行の、変更／削除する文字へカーソルを移動し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押して選択します。選択した文字を、名称を入力するときと同じ手順で編集してください。 8）端子の名称を保存する 名称の入力・編集が終わったら、一番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。 変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせて、カーソルボタン◀または **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。
テンプレート	カーソルボタン▲ / ▼で、テンプレート画面のパターンを選択できます。 選択したテンプレート画面を表示させるには、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。カーソルボタン◀を押すと、表示画面からパターン選択画面に戻ります。テンプレート画面は、テンプレート機能を割り当てた **MY BUTTON**（📖2-34）を押すことによっても表示できます。表示されるのは **MY BUTTON** を押す直前に選択していたテンプレート画面となります。 **テストパターン ↔ 点線１ ↔ 点線２ ↔ 点線３ ↔ 点線４** **↕ ↕** **スタック ↔ 地図２ ↔ 地図１ ↔ 円２ ↔ 円１** 「地図 1」および「地図 2」では、地図を水平にスクロールしたり、上下をさかさまにすることができます。「地図 1」または「地図 2」を表示中に **RESET** ボタンを 3 秒間以上押してください。操作のガイタンスが表示されます。

（次ページにつづく）

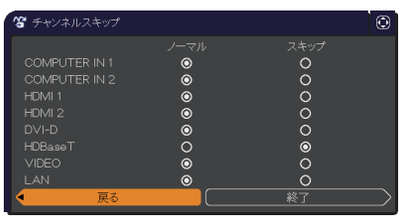
設定項目	操作内容
C.C. (Closed Caption)	この項目を選択してカーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、「C.C.」メニューが表示されます。 クローズドキャプション（C.C.）は、ビデオやテレビ番組、ファイルなどの、音声情報やその他の付加的な文字情報を、表示ガイドや字幕などの視覚的な情報として画面に写す機能です。この機能をお使いいただくためには、C.C. に対応した、NTSC 方式のテレビ（ビデオ）信号や 480i@60 コンポーネントビデオ信号が必要です。接続している機器や信号源によっては適切に働かない場合があります。この場合は、C.C. をオフにしてください。 
	ディスプレイ カーソルボタン▲ / ▼で、クローズドキャプションの表示設定を切り替えられます。 **有効 ↔ 無効** ■**「有効」：**クローズドキャプションを表示します。 ■**「無効」：**クローズドキャプションを表示しません。 ●画面にメニュー表示が出ている間は、クローズド・キャプションは表示されません。 ●クローズドキャプション (C.C.) は、テレビ信号やその他のビデオ信号に含まれる対話やナレーションの内容、効果音等の情報を文字で画面に表示する機能です。本機能をお使いになるには、C.C. 機能に対応した映像信号が必要です。
	モード カーソルボタン▲ / ▼で、クローズドキャプションの表示モードを選択できます。 **キャプション ↔ テキスト** ■**「キャプション」**：音声情報の字幕を表示します。 ■**「テキスト」**：報道内容や番組ガイド等の文字情報を、スクリーン全体を使って表示します。C.C. 機能に対応したすべての映像信号が「テキスト」に対応しているわけではありません。
	チャンネル カーソルボタン▲ / ▼で、クローズドキャプションの言語チャンネルを設定できます。 **1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4** ■**「1」**：チャンネル 1　第 1 チャンネル / 主言語 ■**「2」**：チャンネル 2 ■**「3」**：チャンネル 3 ■**「4」**：チャンネル 4 使用するチャンネル、言語は、ご覧になるビデオやテレビ番組などによって異なります。

その他メニュー

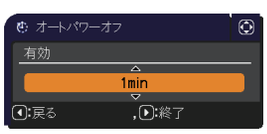
「その他」メニューでは下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
チャンネルスキップ	入力信号の自動検索機能（オートサーチ）で信号を検索する対象となる端子を選択できます。 1）カーソルボタン▲ / ▼で、設定する端子を選択します。 2）カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子の検索設定を選択します。 **ノーマル ↔ スキップ** 「スキップ」に設定した端子は、信号の自動検索機能での対象から外れます。全ての端子を「スキップ」に設定することはできません。 ●簡易スタックで連結モード（🕮2-56）使用時は、この設定は無効になります。 ● 2 画面表示モード（🕮2-49~52）では、この設定は無効になります。
オートサーチ	カーソルボタン▲ / ▼で、入力信号の自動検索機能の有効 / 無効を設定できます。 **有効 ↔ 無効** 「有効」を選択すると、信号を受信できなくなったとき、本機は自動的に他の端子からの入力信号を検索し始めます。正常な入力信号が見つかると、検索をやめ、その映像が表示されます。検索実行前に選択されていた入力端子から、正常な入力信号を検出するまで、次の順序で繰り返し行われます。 COMPUTER IN1 ⇨ COMPUTER IN2 ⇨ HDMI 1 ⇨ HDMI 2 ⇧ ⇩ LAN ⇦ VIDEO ⇦ HDBaseT ⇦ DVI-D

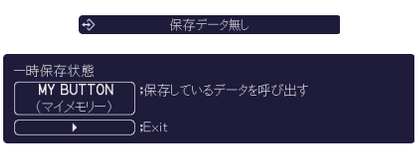


（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
ダイレクト パワーオン	カーソルボタン▲ / ▼で、ダイレクトパワーオン機能の有効／無効を設定できます。 **有効 ↔ 無効** 「有効」に設定すると、本機の使用中（ランプ点灯中）に、テーブルタップのスイッチやブレーカーをご使用になって電源を切ったあと、再度電源に接続したときにボタン操作無しで電源が入り、ランプが自動的に点灯します。 ●以下のいずれかの手順で電源を切った場合は、電源に接続してもランプは自動的に点灯しません。通常の手順（🕮1-35）で電源を入れてください。 ・通常の手順でランプを消灯したとき。 ・オートパワーオフ機能（🕮 **下記**）で電源が切れたとき。 ●ダイレクトパワーオン機能で電源が入ってから約 30 分間、何も信号が入力されなかったり、何も操作をされなかった場合は、オートパワーオフ機能が無効設定になっていても、自動的にランプが消灯します。
オート パワーオフ	カーソルボタン▲ / ▼で、入力信号が検出されなくなってから自動的に電源を切る（ランプを消灯し、冷却動作を始める）までの待ち時間を設定できます。 **長く**（最長 99 分）↔ **短く**（最短 1 分、0 分 : 無効） 例  オートパワーオフ機能は 1 ～ 99 分に設定されているときのみ有効です。0 に設定すると無効になります。有効に設定（待ち時間を設定）すると、入力信号が検出されない場合、設定時間経過後に自動的に電源が切れます。 ●リモコンまたは操作パネルのボタンを押すか、または、Get コマンド以外のコマンドを送受信すると、その時点から再び設定時間が経過するまでオートパワーオフ機能は動作しません。 ●手動で電源を切る方法については「電源を切る」（🕮1-36）をご参照ください。
シャッター タイマー	カーソルボタン▲ / ▼で、シャッターを閉じてから本機の電源を自動的に切るまでの時間を設定できます。 **1h ↔ 3h ↔ 6h** ●電源を入れ直した時には、シャッターは自動的に開きます。

（次ページにつづく）

その他メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
マイボタン	リモコンの **MY BUTTON（1 ～ 4）** ボタンに機能を割り当てることができます。 1）カーソルボタン▲ / ▼で、設定するマイボタン（1 ～ 4）を選択し、カーソルボタン▶を押してマイボタンセットアップダイアログを表示します。 2）カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、選択したボタンに割り当てる機能を選択し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。 ■ **「マイ イメージ」**：マイ イメージメニューを表示します。 ■ **「メッセンジャー」**：メッセンジャーテキストを表示します。表示するデータがないときは、メッセージを表示します。 ■ **「ブランク」**：ブランク機能のオン / オフを切り替えます。 ■ **「2 画面 左右入れ換え」**：2 画面表示モードで、左右の画面を入れ替えます。 ■ **「PinP 位置」**：PinP 画面を切り替えます。 ■ **「ステータスモニター」**：ステータスモニターバックライトのオン / オフを切り替えます。 ■ **「インフォメーション」**:ボタンを押すたびに、「システム _ インフォメーション」ダイアログ、「入力 _ インフォメーション」ダイアログ（🕮**2-40**）、「無線 LAN インフォメーション」ダイアログ（🕮**3-22**）、「有線 LAN インフォメーション」ダイアログ（🕮**3-23**）を表示します。 ■ **「マイメモリー」**：「マイメモリー」で記憶した設定のロード操作を行います。（🕮**2-11**） **マイメモリーを設定したときのマイボタン動作** **MY BUTTON** を押したときの「映像」メニューの設定とロードしようとする設定が異なると、右のようなダイアログが表示されます。 設定データがメモリに保存されていれば、**MY BUTTON** を押すたびに、順次設定データを呼び出し、適用します。メモリに設定データが保存されていないときは「保存データ無し」ダイアログが表示されます。現在の設定を保持したい場合は、カーソルボタン▶で「EXIT」を選択します。データを呼び出した場合は、現在の設定が上書きされます。  ■ **「アクティブアイリス」**：アクティブアイリスモードを変更します。（🕮**2-10**） ■ **「フィルターリセット」**：フィルター時間の初期化確認ダイアログを表示します。（🕮**2-22**） ■ **「テンプレート」**：テンプレート画面を表示します。（🕮**2-30**） ■ **「解像度」**：画面の解像度の設定メニューを表示します。（🕮**2-18**）

（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>操作内容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">特別な設定</td><td>この項目を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「 特別な設定 」メニューが表示されます。カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選択してください。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、その項目のサブメニュー、またはダイアログが表示されます。
</td></tr>
<tr><td>高地モード
カーソルボタン▲ / ▼で、冷却ファンの回転速度モードを選択できます。
高地 -2 ↔ 高地 -1 ↔ 標準 ↔ オート
■「オート」：本機が自動的に標高を判断し、最適なファン速度を設定します。
工場出荷時は、「オート」に設定されています。「オート」に設定していると問題がある場合を除き、設定を変更しないでください。誤った設定のままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。
■「標準」：標高 1600m 以下の場所でご使用ください。
■「高地 -1」：標高 1600m ～ 2300m の場所でご使用ください。
■「高地 -2」：標高 2300m 以上の場所でご使用ください。</td></tr>
<tr><td>オートアジャスト
カーソルボタン▲ / ▼で、画面の自動調整を実行する際に自動的に調整、あるいは初期設定に戻す項目を設定できます。
詳細 ↔ 高速 ↔ 無効
自動的に調整される項目は、受信中の信号によって異なります。
■「詳細」：画面の自動調整を実行すると、各項目が自動的に調整されます。
■「高速」：画面の自動調整を実行すると、自動的に調整される項目のうち、「水平サイズ」は初期設定に戻り、残りの項目は自動的に調整されます。
■「無効」：画面の自動調整を実行すると、各項目が初期設定に戻ります。
●入力信号、信号ケーブル、接続機器の状態によっては正常に機能しない場合があります。その場合は、「無効」に設定してから、手動で調節してください。</td></tr>
</table>

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
特別な設定 （つづき）	**レンズタイプ** 使用するレンズユニットを設定します。 1）カーソルボタン▲ / ▼で、使用しているレンズの型名を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押してください。「オート」を選択すると、本機が自動的に型名を判断します。 2）確認のダイアログが表示されますので、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押してください。 ●この設定は、オートキーストン補正などに影響します。 ●本機が自動的に判断したレンズの型名は、「オート」の右側に表示されます。 ●本機がレンズの型名を判断できない場合は、「レンズタイプが判定出来ません」と表示されます。 ●レンズユニット（別売品）については、販売店にご確認ください。 ■CP-X9110J/9111J 用レンズ USL-901, SL-902, SD-903X, ML-904, LL-905, UL-906 ■CP-WX9210J/9211J、CP-WU9410J/9411J 用レンズ USL-901, SL-902, SD-903W, ML-904, LL-905, UL-906 ＊ SD-903X は、CP-X9110J/9111J 専用レンズです。 ＊ SD-903 Wは、CP-WX9210J/9211J と CP-WU9410J/9411J 専用レンズです。 プロジェクターに未対応レンズを取り付けますと、光学性能が低下します。 その場合は、未対応のレンズもしくは「オート」を選択しても注意のメッセージが表示されます。起動時にもメッセージが表示されます。
	レンズロック カーソルボタン▲ / ▼で、レンズの調節に使用するボタンをロックすることができます。 **有効 ↔ 無効** 「有効」に設定すると、**ZOOM**、**ZOOM** ＋／－、**FOCUS** ＋／－、**LENS SHIFT**、**LENS MEMORY** の各ボタンが無効になります。
	キーロック 操作パネル、またはリモコンのボタン（キー）をロックすることができます。 1) カーソルボタン▲ / ▼で、ボタンをロックする方を選択します。 **コントロールパネル**（操作パネル）**↔ リモコン** 2) カーソルボタン◀ / ▶でキーロック機能の有効／無効を設定します。 **有効 ↔ 無効** 「有効」を選ぶと、リモコンの **ON** ボタン、**STANDBY** ボタン、および操作パネルの **STANDBY/ON** ボタン以外の各ボタンが無効になります。 ●いたずらや誤操作を防止したい場合に、この機能をご使用ください。 ●操作パネルとリモコンの両方を「有効」（ロック）に設定することはできません。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
特別な設定 （つづき）	**カラーホイールロック** カーソルボタン▲ / ▼でカラーホイールロックのオン / オフを切り替えます。 **有効 ↔ 無効** **有効**：カラーホイールと設定が固定され、映像メニューからは変更できません。 **無効**：カラーホイールと設定が映像メニューから変更できます。
	リモコン受光部 1) カーソルボタン▲ / ▼で、設定するリモコン受光部を選択します。 **前面 ↔ 背面 ↔ HDBaseT** 2) カーソルボタン◀ / ▶でリモコン受光部の有効 / 無効を切り替えてください。 **有効 ↔ 無効** ●両方の受光部を「無効」に設定することはできません。
	リモコン周波数 1) カーソルボタン▲ / ▼で、信号受信周波数モードを選択します。 **1: 標準 ↔ 2: 高** 2) カーソルボタン◀ / ▶で周波数モードの有効 / 無効を切り替えてください。 **有効 ↔ 無効** 工場出荷時には「1：標準」と「2：高」の両方共有効になっています。リモコンが正常に機能しない場合、「1:標準 」または「2:高 」だけを有効にしてみてください。「1:標準」と「2:高」の両方を無効にすることはできません。
	リモコン ID 1) カーソルボタン▲ / ▼で、本機に設定するリモコン ID を選択してください。 **全 ID ↔ 1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4** 2) 設定を保存するには、カーソルボタン▶を押してください。 本機は、同じ ID 番号を設定したリモコンでしか操作できなくなります。「全 ID」を設定した場合は、どの ID を設定されたリモコンでも操作できます。

（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">操作内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">特別な設定
（つづき）</td><td colspan="2">通信設定
この項目を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「 通信設定 」メニューが表示されます。「通信設定」メニューでは、CONTROL 端子を経由する通信の設定を行うことができます。

カーソルボタン▲ / ▼で設定したい項目を選択してください。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、その項目のサブメニュー、またはダイアログが表示されます。
または、カーソルボタン◀を押しますと、設定を変更せずに一つ前のメニューに戻ります。
●「 通信タイプ 」（🕮 下記）を「 オフ 」に設定していると、「通信設定」メニュー内の、「スタック」（🕮2-39）以外の項目は選択できません。
●シリアル通信機能に関しては、ネットワーク編をご参照ください。</td></tr>
<tr><td>通信設定</td><td>通信タイプ
カーソルボタン▲ / ▼で、CONTROL 端子を経由する伝達通信タイプを選択できます。
ネットワークブリッジ（無線）↔ ネットワークブリッジ（有線）↔オフ
■「ネットワークブリッジ」:
コンピュータから本機を経由して、外部機器をネットワーク端末として制御したい時に選択してください。接続状況に合わせて、無線または有線を選択してください。CONTROL 端子は、RS-232C コマンドを受け付けません。
詳細は、【ネットワーク編】「ネットワークブリッジ」（🕮3-62～64）をご参照ください。
■「オフ」:
CONTROL 端子をコンピュータに接続して RS-232C 通信を行うときに選択してください。
●工場出荷時は、「オフ」に設定されています。
●「ネットワークブリッジ」を選択する時は、「通信方式」（🕮2-39）をご確認ください。</td></tr>
</table>

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容	
特別な設定（つづき）	通信設定（つづき）	**シリアル設定** CONTROL 端子の通信状態を選択することができます。 ■**ボーレート** 4800 bps ↔ 9600 bps ↔ 19200 bps ↔ 38400 bps ■**パリティ** なし ↔ 奇数 ↔ 偶数 ●「通信タイプ」（📖2-38）が「オフ」に設定されているときは、ボーレートは「19200bps」、パリティは「なし」に固定されます。
		通信方式 この項目は、「通信タイプ」（📖2-38）で「ネットワークブリッジ」が選択されている時のみ設定できます。 カーソルボタン▲/▼で、ネットワークブリッジでの、CONTROL 端子からの伝達用の通信方式を選んでください。 **半二重通信 ↔ 全二重通信** ■**「半二重通信」**：データの送信、受信を交互に行います。 ■**「全二重通信」**：データの送受信を同時に行います。 お知らせ ●工場出荷時は、「半二重通信」に設定されています。 ●「半二重通信」を選択する時は、「応答データ受信期間」（📖 **下記**）をご確認ください。
		応答データ受信期間 カーソルボタン▲/▼で、外部機器からの応答待機時間を選択してください。 オフ ↔ 1s ↔ 2s ↔ 3s ■**「オフ」**：コンピュータから連続してデータを送信することができます。送信先の外部機器からの応答データを確認しなくてもよい場合に選択してください。 ■ **1s/2s/3s**：データ送信先の外部機器からの応答待機時間を設定します。設定された時間は、CONTROL 端子からデータが送信されません。 ●本メニューは、「通信タイプ」（📖2-38）が「ネットワークブリッジ」に設定され、さらに「通信方式」（📖2-39）が「半二重通信」に設定されている時にのみ有効となります。 ●工場出荷時は、「オフ」に設定されています 。
		スタック この項目を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「スタック」メニューが表示されます。 「スタック」メニューでは、簡易スタック機能に関する設定を行うことができます。簡易スタック機能の詳細は、「簡易スタック」（📖2-53～77）をご参照ください。 ●「スタックモード」が「メイン」または「サブ」に設定のときは、「通信設定」メニューで使用できなくなる項目があります。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
特別な設定 （つづき）	**インフォメーション** この項目を選択すると「入力 _ インフォメーション」のダイアログが表示されます。このダイアログには現在受信中の映像信号についての情報が表示されます。 ● " フレームロック” と表示されている場合は、フレームロック機能が動作していることを示します。 ●正常な信号を受信していない状態では、この項目は選択できません。 ●「 セキュリティ 」メニューの「マイテキスト表示」（📖2-46) が「有効」に設定されていると、「入力 _ インフォメーション」ダイアログには、登録したマイテキストも一緒に表示されます。
	工場出荷設定 カーソルボタン▶を押して、「OK」を選択すると、メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。 **初期化しない → OK** ● 「ランプ時間」、「フィルター時間」、「表示言語」、「フィルター掃除通知」、「スタンバイモード」、「通信設定」、「ネットワーク」および「セキュリティ」の各項目の設定は初期化されません。

ネットワークメニュー

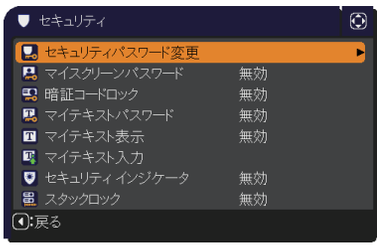
ネットワーク機能の詳細については、【ネットワーク編】をご参照ください。
本機をネットワークに接続するには、あらかじめご使用になるネットワーク環境に合わせた設定が必要です。本機をネットワークに接続する前に、必ずご使用になるネットワークの管理者へご相談ください。誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因となることがあります。

セキュリティメニュー

「セキュリティ」メニューでは、本機のセキュリティ機能の設定を行うことができます。パスワード、暗証コードのお問い合わせの際に必要となりますので、保証書は大切に保管してください。
「セキュリティ」メニューを操作するには、以下の手順に従い、セキュリティパスワードを入力してください。

1.「パスワードを入力してください。」を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押してください。「パスワードを入力してください」ダイアログが表示されます。

2. カーソルボタン◀ / ▶でカーソルを移動させながら、カーソルボタン▲ / ▼で、登録されているセキュリティパスワードを入力してください。
工場出荷時のセキュリティパスワードは以下です。
<CP-X9110J/9111J>：6907
<CP-WX9210J/9211J>：1305
<CP-WU9410J/9411J>：9317
セキュリティパスワードは変更できます。
カーソルを「OK」に移動して、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、「セキュリティ」メニューが表示されます。間違ったパスワードを入力すると、ダイアログが再度表示されます。



●工場出荷時のパスワードはできるだけ早く変更してください。
●間違ったパスワードを 3 回入力すると、電源が切れます。それ以降は、パスワードの入力を間違えるたびに電源が切れます。

3. 下記表の項目が操作できます。

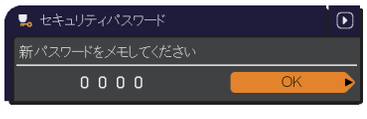
■セキュリティパスワードを忘れた場合

1.「パスワードを入力してください」ダイアログが表示されている間に、**RESET** ボタン、または操作パネルのカーソルボタン▶と **INPUT** ボタンを同時に 3 秒間押すと、「セキュリティ／照合コード」ダイアログが表示されます。このダイアログには 10 桁のセキュリティパスワード照合コードが表示されています。

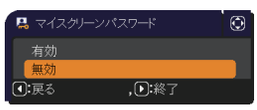
2. 10 桁のセキュリティパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて
お客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター） TEL 0120-3121-19
までご連絡ください。確認後、パスワードをご連絡いたします。

●「セキュリティパスワード / 照合コード」ダイアログが表示されているときに一定時間何も入力しないと、ダイアログが閉じます。

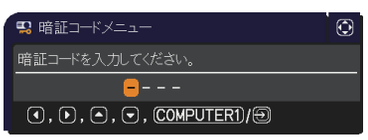
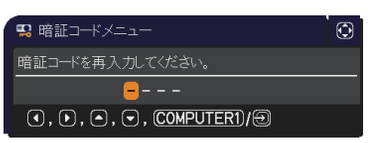
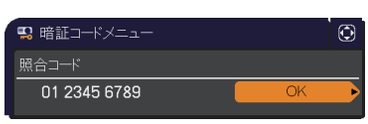
設定項目	操作内容
セキュリティパスワード変更	セキュリティパスワードを変更することができます。 1)「セキュリティ」メニューで「セキュリティパスワード変更」を選択し、「新パスワードを入力してください」ダイアログを表示させます。 2) カーソルボタン▲ / ▼で新パスワードを入力してください。 3) カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じパスワードを再度入力してください。 4) カーソルを「OK」に移動して、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、新しいセキュリティパスワードが設定・登録され、「 新パスワードをメモしてください 」ダイアログが約 30 秒間表示されます。このダイアログにはパスワードが表示されています。この間に新しいパスワードをメモしてください。**ENTER** ボタンまたはカーソルボタン▶を押すと、ダイアログが閉じます。 ●セキュリティパスワードを忘れないようにしてください。



（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
マイスクリーンパスワード	マイスクリーンパスワード機能でマイスクリーンへのアクセスを禁止し、登録されている映像の上書きを防ぐことができます。 **1. マイスクリーンパスワード機能を有効にする（パスワードを設定・登録する）** 1-1) カーソルボタン▲ / ▼で、「セキュリティメニュー」の「マイスクリーンパスワード」を選択し、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューを表示させます。  1-2) カーソルボタン▲ / ▼で、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューで「有効」を選択してください。「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログが表示されます。 「新パスワードを入力してください」（小） 1-3) カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶でカーソルを移動させながら、パスワードを入力してください。カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。 1-4) 同じパスワードを再度入力してください。カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、マイスクリーンパスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。このダイアログにはパスワードが表示されています。この間にパスワードをメモしてください。 カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューに戻ります。 ●マイスクリーンパスワードを設定すると、「スクリーン」メニューの「マイスクリーン」（📖**2-27**）、および「マイスクリーンロック」（📖**2-28**）を操作できなくなり、「初期画面」が「マイスクリーン」に固定されます。 「マイスクリーンパスワード」を「無効」にすることで、上記の操作ができるようになります。 ●マイスクリーンパスワードを忘れないようにしてください。 **2. マイスクリーンパスワード機能を無効にする** 2-1）上記の 1-1 をご参照のうえマイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューを表示させます。 2-2）メニューで「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください d」（大）ダイアログが表示されます。 「マイスクリーンパスワードを入力してください」（大） 登録されたマイスクリーンパスワードを入力すると、マイスクリーンパスワード機能は無効になり、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューに戻ります。 間違ったパスワードを入力するとメニューが閉じます。 **3. マイスクリーンパスワードを忘れた場合** 3-1）上記の 1-1 をご参照のうえマイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューを表示させます。 3-2) カーソルボタン▲ / ▼で、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューで「無効」を選択し、「マイスクリーンパスワードを入力してください」（大）ダイアログを表示させてください。このダイアログには 10 桁のマイスクリーンパスワード照合コードが表示されています。 3-3)10 桁のマイスクリーンパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて **お客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター） TEL 0120-3121-19** までご連絡ください。確認後、マイスクリーンパスワードをご連絡いたします。

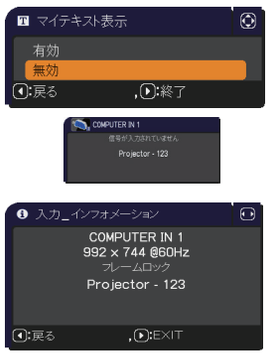
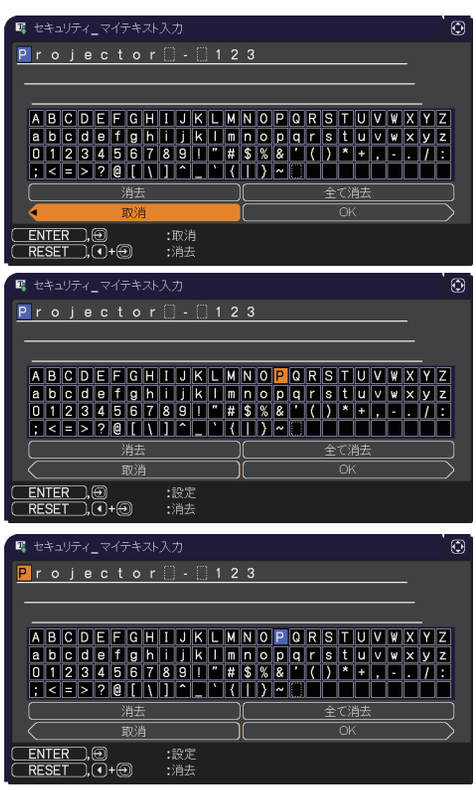
（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
暗証コードロック	暗証コードロックは、登録された暗証コードが入力されない限り、本機を使用できないようにする機能です。 **1. 暗証コードロック機能を有効にする（暗証コードを設定・登録する）** 1-1) カーソルボタン▲/▼で「セキュリティメニュー」の「暗証コードロック」を選択し、暗証コードロック 有効 / 無効メニューが表示されます。 1-2)「有効」を選択すると、「暗証コードを入力してください」ダイアログが表示されます。 1-3) カーソルボタン▲/▼/◀/▶と、COMPUTER 1 ボタンまたは INPUT ボタンで、4 つのパートからなる暗証コードを入力してください。「暗証コードを再入力してください。」ダイアログが表示されます。同じ暗証コードを再度入力してください。暗証コードの登録が完了します。   ●「暗証コードを入力してください」ダイアログ、および「暗証コードを再入力してください」ダイアログは、表示されてから約 55 秒何も入力しないと閉じます。 暗証コードロック機能を有効にすると、本機を電源につないで最初に電源を入れるたびに、暗証コードを確認するダイアログが表示され、登録された暗証コードを 5 分間以内に入力しない限り本機を使用できなくなります。 この機能は、一度本機の電源を完全に切った（📖1-36）後で、再度電源を入れないと有効になりません。 ●暗証コードを忘れないようにしてください。 **2. 暗証コードロック機能を無効にする** 2-1）上記の 1-1 をご参照のうえ暗証コードロック 有効 / 無効メニューを表示させます。 2-2）カーソルボタン▼で、暗証コードロック有効 / 無効メニューで「無効」を選択すると、「暗証コードを入力してください」ダイアログが表示されます。登録された暗証コードを入力すると、暗証コードロック機能は無効になります。間違った暗証コードが入力されると、ダイアログが再度表示されます。間違った暗証コードを 3 回入力すると、本機の電源が切れます。 **3. 暗証コードを忘れた場合** 1）本機の電源を入れ、暗証コードを確認するダイアログが表示されている間に、RESET ボタン、または操作パネルのカーソルボタン▶と INPUT ボタンを同時に、3 秒間押してください。 「暗証コードメニュー／照合コード」ダイアログが表示されます。このダイアログには 10 桁の暗証コード照合コードが表示されています。  2）10 桁の暗証コード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて **お客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター） TEL 0120-3121-19** までご連絡ください。確認後、暗証コードをご連絡いたします。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
マイテキスト パスワード	マイテキストの上書きや表示設定の変更を防止することができます。 ●表示設定の変更を防ぐため、「マイテキスト表示」メニューが使用できなくなります。 ●「マイテキスト」の上書きを防ぐため、「マイテキスト入力」が使用できなくなります。 **1. マイテキストパスワード機能を有効にする（パスワードを設定・登録する）** 1-1）カーソルボタン▲/▼で、「セキュリティメニュー」の「マイテキストパスワード」を選択し、マイテキストパスワード 有効 / 無効メニューを表示させます。 1-2) カーソルボタン▲で、マイテキストパスワード 有効 / 無効メニューで「有効」を選択してください。「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログが表示されます。 「新パスワードを入力してください」（小） 1-3) カーソルボタン▲/▼/◀/▶でカーソルを移動させながら、パスワードを入力してください。カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶を押すと、「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じパスワードを再度入力してください。 1-4) カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、マイテキストパスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。このダイアログにはパスワードが表示されています。 この間にパスワードをメモしてください。 カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、マイテキストパスワード 有効 / 無効メニューに戻ります。 **2. マイテキストパスワード機能を無効にする** 2-1) 上記の 1-1 をご参照のうえ、マイテキストパスワード 有効 / 無効メニューを表示させます。 2-2) カーソルボタン▼で、マイテキストパスワード 有効 / 無効メニューで「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」（大）ダイアログが表示されます。 登録されたマイテキストパスワードを入力すると、マイテキストパスワード機能は無効になり、 マイテキストパスワード 有効 / 無効メニューに戻ります。 間違ったパスワードを入力すると、メニューが閉じます。 「新パスワードを入力してください」（大） **3. マイテキストパスワードを忘れた場合** 3-1) 上記の 1-1 をご参照のうえマイテキストパスワード 有効 / 無効メニューを表示させます。 3-2) カーソルボタン▲/▼で、マイテキストパスワード 有効/無効メニューで「無効」を選択し、「パスワードを入力してください」（大）ダイアログを表示させてください。このダイアログには、10 桁のマイテキストパスワード照合コードが表示されています。 3-3)10 桁のマイテキストパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて **お客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター） TEL 0120-3121-19** までご連絡ください。確認後、マイテキストパスワードをご連絡いたします。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
マイテキスト表示	1) カーソルボタン▲ / ▼で、「セキュリティメニュー」の「マイテキスト表示」を選択します。 2) カーソルボタン▲ / ▼で、マイテキストの表示／非表示を切り替えられます。 **有効 ↔ 無効** 「有効」に設定すると、初期画面 (📖2-26) と「入力_インフォメーション」ダイアログ (📖2-40) に、登録したマイテキストが表示されます。 ●「マイテキストパスワード」(📖2-45) が「無効」に設定されているときのみ、「マイテキスト表示」の設定を変更できます。 
マイテキスト入力	(1) カーソルボタン▲ / ▼で、「セキュリティメニュー」の「マイテキスト入力」を選択し、マイテキスト入力ダイアログを表示させます。 (2) **マイテキストを入力する** 最初の 3 行（下線付き）に現在のマイテキストが表示されます。マイテキストをまだ登録していないときは、最初の 3 行は空白です。 カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で各文字を選択し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押して入力してください。 **RESET** ボタンを押して、またはカーソルボタン◀と **INPUT** ボタンを同時に押して、もしくは「消去」にカーソルを合わせて **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押すと、1 文字削除することができます。また、「全消去」にカーソルを合わせて **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押すと、表示されている文字を全て削除することが出来ます。 マイテキストは 1 行につき最大 24 文字入力できます。 (3) **マイテキストを編集する** カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、マイテキストが表示されている行の、変更／削除する文字へカーソルを移動し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押して選択します。選択した文字を、マイテキストを入力するときと同じ手順で編集してください。 (4) **マイテキストを保存する** テキストの入力・編集が終わったら、1 番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶か、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせてカーソルボタン◀か、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。 ●この項目は、「マイテキストパスワード」(📖2-45) が「無効」になっているときのみ操作できます。 

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
セキュリティインジケータ	カーソルボタン▲ / ▼で、SECURITY インジケータでの、本機のセキュリティ表示の有効／無効を設定できます。 **有効 ↔ 無効** 「有効」に設定すると、「暗証コードロック」が有効で、本機がスタンバイ状態のとき、SECURITY インジケータ（📖1-12）が黄色に点滅します。
スタックロック	「スタック」メニューの表示をすることができます。 簡易スタック機能についての詳細は「簡易スタック」をご参照ください。

仕様

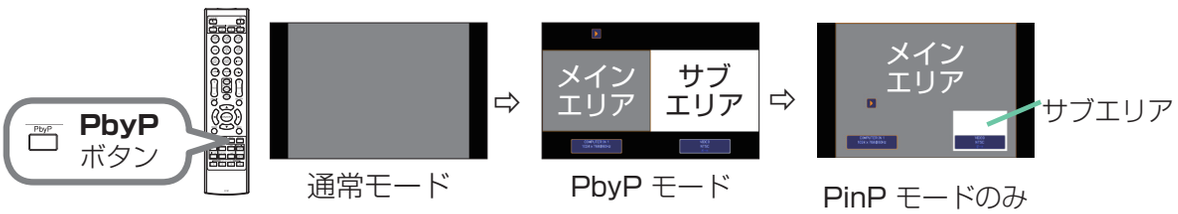
仕様は、基本編をご参照ください。

プロジェクターソフトウェアのライセンス情報について：

- プロジェクターに組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアモジュールで構成され、個々のソフトウェアモジュールは、それぞれに弊社または第三者の著作権が存在します。

2画面表示

PbyP/PinP 機能は、2 画面表示でメイン、サブの 2 つのエリアに分割された画面に、2 つの異なる映像信号を表示する機能です。



リモコンの **PbyP** ボタンを押すと、2 画面表示モードを開始します。また **PbyP** ボタンを押すと、PinP モードに切り替わります。**PbyP** ボタンが押される前に表示していた映像がメインエリアに表示されます。
ほとんどの操作は、メインエリアにのみ有効です。
2 画面表示を終了するには、もう一度 **PbyP** ボタンを押してください。

お知らせ

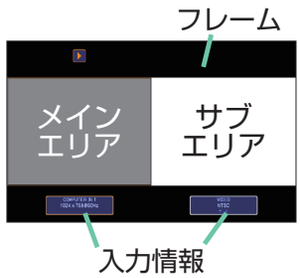
- **LAN** 端子からの映像を表示している時に **PbyP** ボタンを押すと、メインエリア、サブエリアともに、異なる端子からの映像が表示されます。
- 2 画面表示モード中に本機のメニューを表示させるには、リモコンの **MENU** ボタンまたは、操作パネルの ▲ / ▼ボタンを押します。
- 2 画面表示モード中は、画面や映像の操作で使用できない機能もありますので、ご注意ください。
- 2 画面表示モード中のみ使用できないボタンを押した場合には、無効なボタンが押された時のメッセージ (📖4-38) が表示されない場合があります。
- 2 画面表示モード中、使用できない機能は、本機のメニュー上で灰色表示され、選択することができません。

（次ページにつづく）

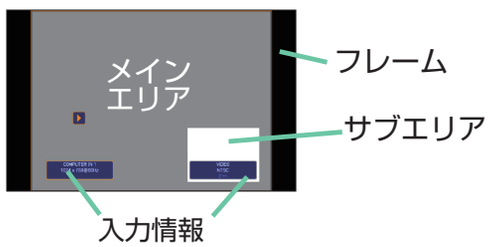
2画面表示（つづき）

■ 設定情報

2 画面機能の使用開始と同時に設定情報がしばらく表示されます。
各エリアの入力情報が表示されます。メインエリアには、黄色枠が表示されます。
この表示が消えた後は、カーソルボタン◀ / ▶で再表示できます。



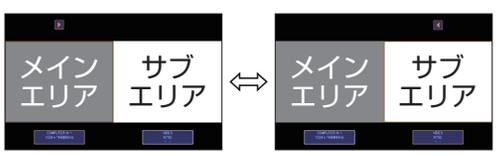
PbyP モード



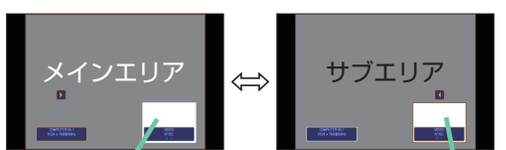
PinP モード

■ メインエリアの切り替え

設定情報が表示中にメインエリアの表示位置をカーソルボタン◀ / ▶で切り替えられます。
併せて黄色枠も切り替わります。



PbyP モード



PinP モード

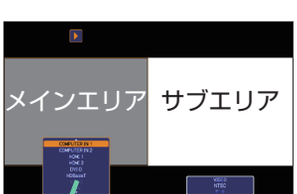
（次ページにつづく）

■ 入力信号の切り替え

2 画面表示モード中に、リモコンの各映像入力端子を選択するボタンや、操作パネルの INPUT ボタンを押すと、メインエリア側の入力信号を選択するダイアログが表示されます。カーソルボタン▲ / ▼で信号を選択してください。サブエリア側の入力信号を変更したい場合は、カーソルボタン◀ / ▶でメインエリアを交替させてから、入力信号を選択してください。

同じ入力信号を左右両方の画面に表示させることはできません。同時に表示できる信号の組み合わせは下表の通りです。×印の付いている組み合わせは、表示できません。

メインエリア ＼ サブエリア	COMPUTER IN1	COMPUTER IN2	HDMI 1	HDMI 2	DVI-D	HDBaseT	VIDEO	LAN
COMPUTER IN1		O	O	O	O	O	O	X
COMPUTER IN2	O		O	O	O	O	O	X
HDMI 1	O	O		O	X	X	O	X
HDMI 2	O	O	O		O	O	O	X
DVI-D	O	O	X	O		X	O	X
HDBaseT	O	O	X	O	X		O	X
VIDEO	O	O	O	O	O	O		X
LAN	X	X	X	X	X	X	X	



PbyP モード

PinP モード

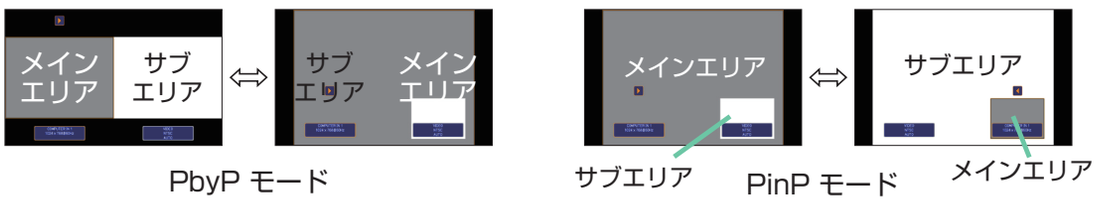
お知らせ

● 「その他」メニューの「チャンネルスキップ」(📖2-32)が「スキップ」に設定されている端子の組み合わせでも、上表で○印が付いているものは表示することができます。

（次ページにつづく）

2画面表示（つづき）

■PbyP / PinP 画面入れ替え
PbyP / PinP 画面入れ替えに指定した **MY BUTTON** ボタンを押します。設定に影響せずエリアが入れ替わります。

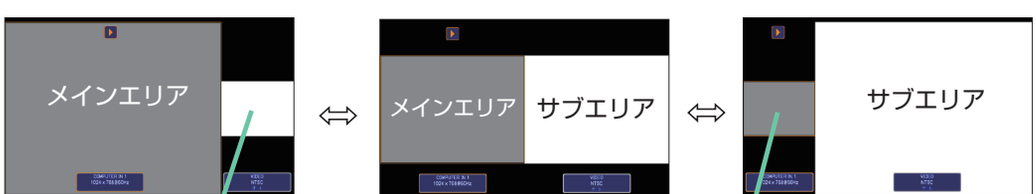


PbyP モード　　PinP モード

お知らせ

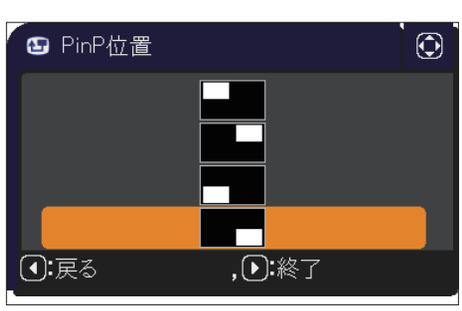
●信号によっては、通常モードで適切に表示することができても、PbyP/PinP モードでは正確に表示できない場合があります。

■PbyP モードのサイズ変更
PbyP モード時、リモコンのカーソルボタン▲ / ▼でメインエリアのサイズ変更ができます。



■PinP モードでの位置変更

リモコンの **PbyP** ボタンを押してください。
または、以下の手順に沿って切り替えます。
簡単メニュー > 詳細メニュー > **入力** >PbyP/PinP 設定 >PinP 位置



簡易スタック

簡易スタック機能は、本機を 2 台使用して 1 つの画面を投写する機能です。
2 台のプロジェクターを同時に動作させて 2 台分の明るい画面を投写することができます。2 台を RS-232C クロスケーブルで接続すると連結モードとなります。これらの機能を簡易スタックと呼び、様々な使用法を提供します。

はじめに

簡易スタック時のご注意

簡易スタックの準備を始める前に、以下のご注意をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。その他に必要な情報がある場合は、販売店にご相談ください。

お守りください

●連結モードは同じ機種 (2 台) の組み合わせでのみ動作可能です。
●本機を一方のプロジェクターの上に直接置かないでください。
● 2 台のプロジェクターのカラーホイール設定は同じにしてください。
●簡易スタックには、必ずフラットスクリーンをご使用ください。
ご使用になるスクリーンがたわんでいたり、破損していたり、傾いていたりすると、2 台の画面がきれいに重なり合わないことがあります。
▶本機の電源を入れてすぐは、本機内部の温度が上昇し、画面の位置や焦点がずれる場合がありますので、電源を入れて 20 分以上たってから、2 台の画面を重ね合わせてください。
▶簡易スタックでご使用になる場合は、特に安定した場所に設置してください。また、本書に指定がある場合を除き、本機に触ったり、物をぶつけないようご注意ください。温度の変化や振動や衝撃を与えると、本機の位置が動き、重ね合わせた画面がずれることがあります。画面がずれた場合は、周囲が安定してからもう一度画面を重ね合わせてください。
▶接続ケーブルの重みや突っ張りで、時間がたつと重ねた画面が動いてずれてしまうことがあります。ケーブルは、本機に負担がかからないよう接続してください。
▶ 2 台のプロジェクターが RS-232C ケーブルで接続され、メイン機がサブ機を制御する状態を連結モードといいます。連結モードをご使用になる場合は、外部から **CONTROL** 端子を経由して RS-232C コマンドを受け取ることができません。コマンドを使用して本機を制御する場合は、メイン機をネットワークに接続し、**LAN** 端子を経由してコマンドを送信してください。
▶連結モードでご使用になる場合は、操作と設定の一部が制限されます。詳しくは（🕮2-76）をご参照してください。

⚠警 告

電源プラグ
を
コンセント
から抜け

●異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。

●ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定な場所には置かない
▶設置器具は、本書の指定品をご使用になり、本書および本機の注意ラベルをよくお読みになり、取扱いには十分ご注意ください。
▶天吊り (天井設置) などの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。
▶本書に指定がある場合を除き、本機に触ったり、物をぶつけて落とさないようご注意ください。

●クリップやピンなどの金属の小物や、紙片などの燃え易いものを本機の上や近くに置かない

●調理台のある場所や機械油などを使用する場所に設置しない

●水をかけたり、水や雨のかかる場所に置いたりしない

⚠注 意

● 通風孔をふさがない
▶周辺の壁や物から 50cm 以上離して設置してください。
▶ 2 台を並べて使用する場合は、お互いに 50cm 以上離して設置してください。
▶通風孔をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。
▶本機に磁気を近づけたり、磁気を発生するものの近くに置いたりすると、冷却ファンが止まったり回転速度に異常を生じることがあります。

● 煙や湿気、ほこりの多いところには置かない
▶超音波式加湿器などで、水道水に含まれる塩素やミネラル成分が霧化されて本機に付着すると、故障や映像不良の原因となることがあります。

お守りください

●光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください。リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります。
●電波を発生する装置の近くに設置しないでください。

準備

簡易スタック

簡易スタックを使用すると、2 台のプロジェクターの画面を簡単に重ねることができます。

連結モードと単体モード

簡易スタック機能には 2 つの使用モードがあります。
連結モードでは、2 台のプロジェクターを RS-232C（クロス）ケーブルで接続し、必要な設定を行うことで、2 台を連携して使用できます。2 台を自動的に交代させて使用する場合に便利です。
単体モードでは、2 台のプロジェクターを RS-232C（クロス）ケーブルで接続せずに、各々独立して使用します。

連結モードと単体モードの遠隔操作について

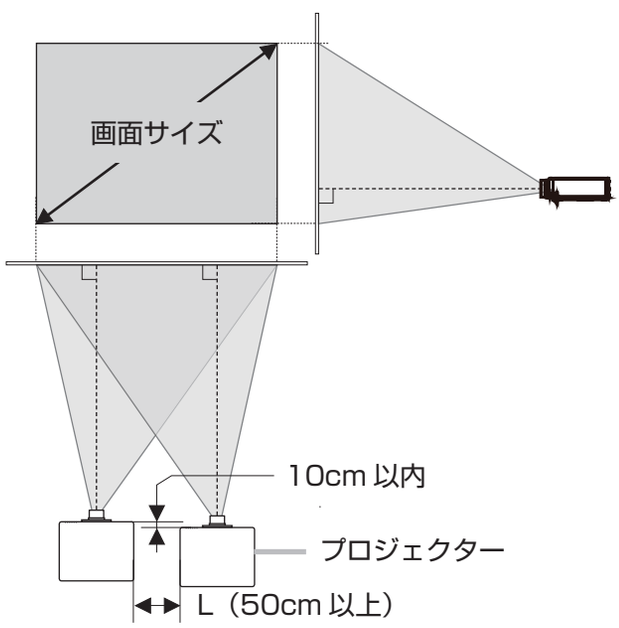
連結モードでは、片方のプロジェクターをメイン機に、もう一方をサブ機に設定します。リモコン操作はメイン機のみ動作し、サブ機の操作はメイン機を通して行います。メイン機、サブ機とも、操作するにはメイン機の操作パネルを操作するか、リモコンをメイン機に向けて操作します。詳しくは「連結モードの重要なお知らせ」（🕮2-68, 69）をご覧ください。
リモコンによる誤操作を防止するため、操作パネルによる操作や、有線リモコンでの操作を推奨します。また、キーロック機能（🕮2-36）やリモコン ID 機能（🕮2-37）もご利用いただけます。

設置

安全にご使用いただくため、「簡易スタック時のご注意」（🕮2-53, 54）に加え、以下の簡易スタックの正しい使い方についてもお読みください。

●同じ機種のプロジェクターをご使用ください。
●プロジェクターを 2 台横に並べて設置してください。
●スクリーンがプロジェクターに対し直角であることを確認してください。
●ご使用になるレンズタイプによって、プロジェクターの相対位置の許容誤差が異なります。
●リモコンによる誤操作を防止するため、操作パネルによる操作や、有線リモコンでの操作を推奨します。また、キーロック機能（🕮2-36）やリモコン ID 機能（🕮2-37）もご利用いただけます。
●時間がたつと重ねた画面が動いてずれてしまう場合があります。その際はもう一度画面を重ね合わせてください。
● 2 台のプロジェクターの間隔に対し、以下の推奨画面サイズ以上の大きさに画面を投写してください。

L：間隔［cm］	推奨画面サイズ［型］
50	270
75	330
100	390



連結モードの準備

RS-232C ケーブルを接続して連結モードをご使用になる場合は、2 台のプロジェクターに以下の設定がされていることをご確認ください。正しく設定されていない場合、連結モードは正常に動作しません。

●「設置」メニューの「スタンバイモード」（🕮2-23）を「通常」に設定する。
●「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「通信タイプ」（🕮2-38）を「オフ」に設定する。
●「セキュリティ」メニューの「スタックロック」（🕮2-47）を「オフ」に設定する。
「スタックロック」がオンに設定されている場合、簡易スタック関係のメニューは操作できません。以下の手順に従って、設置および設定の間はスタックロックをオフに設定してください。
(1) カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」-「セキュリティ」メニュー（パスワードを入力）-「スタックロック」
「スタックロック」ダイアログが表示されます。
(2) カーソルボタン ▲ / ▼で「オフ」を選択し、カーソルボタン▶を押して設定を完了させてください。

片方のプロジェクターの設置

設置位置を決める

片方のプロジェクターの設置位置と投射角度を決めます。詳細は「傾きを調節する」(📖1-39) をご参照ください。

⚠注 意

▶本書の指定品の設置器具を使用すると、任意の方向に設置することができます。このような特殊な設置については、必ず事前に販売店にご相談ください。

お知らせ

●片方のプロジェクターは前上がり 5° 以内で設置してください。

片方のプロジェクターを準備する

1. 片方のプロジェクターの電源を入れてください。
2. 「設置」メニューの「設置方法」(📖2-23) の設定を変更すると、画面の位置がずれる場合があります。あらかじめ「設置方法」を設定してください。
3. ズーム、フォーカス、レンズシフトダイヤルを使用して片方のプロジェクターの画面サイズと映像の焦点、画面の垂直／水平方向の位置を調節してください。(📖1-40) また、必要に応じて、キーストン、コーナーフィットを使い画面の位置および形状を調節してください。(📖1-44)

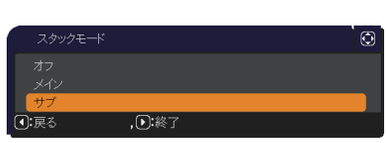
お知らせ

●キーストン、コーナーフィット、ブレンディング、ワーピングの機能を同時に使用することはできません。適切な機能を使用してください。

●単体モードでご使用になる場合は「他方のプロジェクターの設置」(📖2-58) へ進んでください。

4. **MENU** ボタンでメニューを表示させてください。「メニュー機能の使い方」(📖2-3, 4) をご参照ください。
5. カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」-「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「スタック」(📖2-39)
スタックメニューが表示されます。

6. カーソルボタン ▲ / ▼で「スタックモード」を選択し、カーソルボタン▶を押して「スタックモード」ダイアログを表示させてください。
カーソルボタン ▲ / ▼で「サブ」を選択し、カーソルボタン▶を押してください。



7. カーソルボタン▶を押した後、表示されている設定の保存を確認するダイアログが表示されます。
カーソルボタン▶を押して設定を完了させてください。

お知らせ

●リモコンによる誤操作を防止するため、操作パネルによる操作や、有線リモコンでの操作を推奨します。また、キーロック機能（📖2-36）やリモコン ID 機能（📖2-37）もご利用いただけます。

他方のプロジェクターの設置

設置位置を決める

他方のプロジェクターの設置位置と投射角度を決めます。詳細は「傾きを調節する」(📖1-39) をご参照ください。

⚠注 意

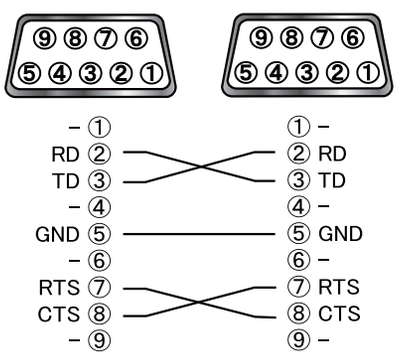
▶本書の指定品の設置器具を使用すると、任意の方向に設置することができます。このような特殊な設置については、必ず事前に販売店にご相談ください。

お知らせ

●他方のプロジェクターは前上がり 5° 以内で設置してください。

プロジェクターを接続する

連結モードでご使用になる場合は、サブのプロジェクターの **CONTROL** 端子とメインのプロジェクターの **CONTROL** 端子を RS-232C ケーブルで接続してください。



他方のプロジェクターを準備する

1．他方のプロジェクターの電源を入れてください。

お知らせ

●画面が片方のプロジェクターの画面に対して大きく傾いている場合は、アジャスタ脚で傾きを調節してください。

2．「キーストン」、「コーナーフィット」の調整を一度リセットしてください。(📖1-44, 45)

お知らせ

●キーストン、コーナーフィット、ブレンディング、ワーピングの機能を同時に使用することはできません。適切な機能を使用してください。
●「設置」メニューの「設置方法」(📖2-23) の設定を変更すると、画面の位置がずれる場合があります。あらかじめ「設置方法」を設定してから画面を重ね合わせてください。

(次ページにつづく)

3．サブのプロジェクターの画面にうまく重なるように、ズーム、フォーカス、レンズシフトを使用してメインのプロジェクターの画面サイズと映像の焦点、画面の垂直／水平方向の位置を調節してください (📖1-40)。

お知らせ

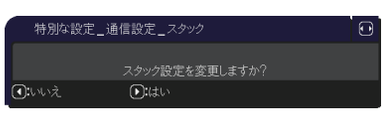
- キーストン、コーナーフィットを使い、画面の位置、形状を調節してください。キーストン、コーナーフィットでは画面のサイズを大きくすることはできません。あらかじめ、他方のプロジェクターの画面の中に、片方のプロジェクターの画面が完全に含まれるように設置しておくことが重要です。
- 他方のプロジェクターをリモコンで操作する際に、片方のプロジェクターも反応してしまう場合があります。誤操作を防止するため、操作パネルによる操作や、有線リモコンでの操作を推奨します。また、キーロック機能（📖2-36）やリモコン ID 機能（📖2-37）もご利用いただけます。
- 単体モードを使用する場合は、「単体モードの場合」(📖2-62) へ進んでください。

4．**MENU** ボタンでメニューを表示させてください。「メニュー機能の使い方」(📖2-3, 4) をご参照ください。

5．カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」-「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「スタック」(📖2-39)
スタックメニューが表示されます。

6．カーソルボタン ▲ / ▼で「スタックモード」を選択し、カーソルボタン▶を押して「スタックモード」ダイアログを表示させてください。
カーソルボタン ▲ / ▼で「メイン」を選択し、カーソルボタン◀を押して前のメニューに戻ってください。

7．カーソルボタン▶を押した後、表示されている設定を保存するかを確認するダイアログが表示されます。
カーソルボタン▶を押して設定を完了させてください。



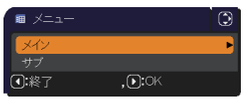
メイン機とサブ機の設定確認

1．メイン機を操作するため、リモコンの **MENU** ボタンを押してください。

お知らせ

●連結モードでご使用になる場合、メイン機はリモコン信号を受信することができますが、サブ機はリモコン信号には反応しません。

2．下のダイアログが画面の右下に表示されます。



メイン機

サブ機

3．カーソルボタン▶を押すとダイアログは閉じ、「メイン」を選択していた場合はメイン機のメニューが表示されます。

カーソルボタン◀を押すとダイアログは閉じ、メニューも消えます。

お知らせ

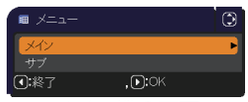
●これらのダイアログが表示されない場合は、RS-232C ケーブルの接続 (🕮2-58) を確認し、「スタックモード」ダイアログでメイン機およびサブ機の設定を確認してください (🕮2-39)。

画面位置の微調節

2 台のプロジェクターの画面を重ね合わせるには、「コーナーフィット」を使ってメイン機の画面サイズと位置を調節します。

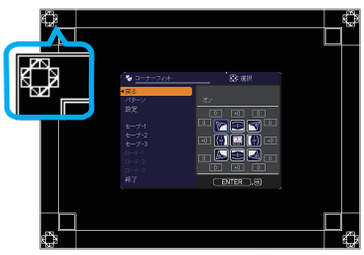
連結モードの場合

1．リモコンまたはメイン機の操作パネルの **MENU** ボタンを押してください。
「メニュー」ダイアログが表示されます。カーソルボタン▲ / ▼で「メイン」を選択してカーソルボタン▶を押してください。メイン機のメニューが表示されます。

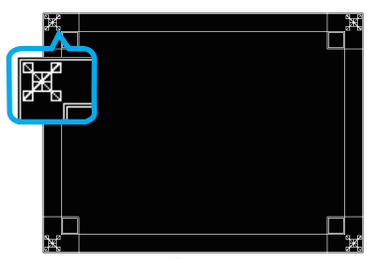


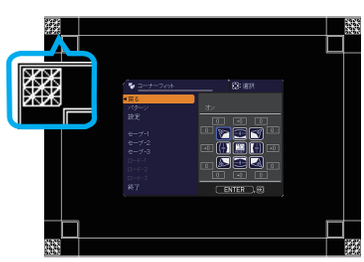
メイン機の画面
（他方のプロジェクター）

2．リモコンまたはメイン機の操作パネルのカーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶ で「簡単メニュー」、または「詳細メニュー」の「設置」メニューを表示させ、「コーナーフィット」を選択してカーソルボタン▶を押してください。メイン機、サブ機の画面にそれぞれの連結モード用のテンプレート画面が表示され、メイン機の画面には「キーストン_コーナーフィット」ダイアログが表示されます。「スタック」のテンプレート画面には、四隅に、画面を重ね合わせるための目安が表示されます。


メイン機の画面
（他方のプロジェクター）

3．「 画面のひずみを補正する」(📖1-44, 45) を参考に、四隅の目安がきれいに重なるよう、メイン機の画面のサイズと形状をサブ機の画面に合わせてください。
まずは左上隅→右上隅→右下隅→左下隅の順で粗く合わせた後で、同じ順番で細かく合わせてください。


サブ機の画面
（片方のプロジェクター）


重なった画面

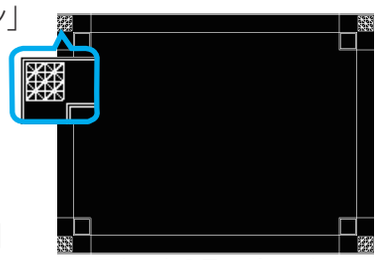
お知らせ

●次ページの「お知らせ」をご覧ください。

単体モードの場合

1．サブのプロジェクターに向けてリモコンの **MENU** ボタンを押してください。
メニューが表示されます。

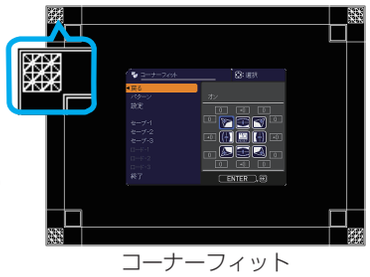
2．カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で「詳細メニュー」を表示させ、「スクリーン」メニューの「テンプレート」(🕮2-30) で「スタック」を選択し、テンプレート画面を表示させてください。



スタックのテンプレート

3．メインのプロジェクターの操作パネルの **MENU** ボタンを押してください。
メニューが表示されます。

4．カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶ で「簡単メニュー」、または「詳細メニュー」の「設置」メニューを表示させ、「コーナーフィット」を選択してカーソルボタン▶を押してください。
「スタック」のテンプレート画面と「キーストン_コーナーフィット」ダイアログが表示されます。
「スタック」のテンプレート画面には、四隅に、画面を重ね合わせるための目安が表示されます。
調整用テストパターンを表示させるには、パターン設定をオンにしてください。



コーナーフィット

5．「画面のひずみを補正する」(🕮1-44, 45) を参考に、もう片方の画面に、サイズと形状を合わせてください。
まずは左上隅→右上隅→右下隅→左下隅の順で粗く合わせた後で、同じ順番で細かく合わせてください。

お知らせ

- 「コーナーフィット」の詳細については、「画面のひずみを補正する」の「コーナーフィット」(🕮1-44, 45) をご参照ください。
- 必ずフラットスクリーンをご使用ください。スクリーンがたわんでいたり、破損していたり、傾いていたりすると、「コーナーフィット」で四辺のたわみを調節しても、画面をきれいに重ね合わせるのは大変難しくなります。
- 「コーナーフィット」で画面を重ね合わせた後でも、入力信号によっては映像がずれてしまうことがあります。その際は、以下の方法を試してください。
  - **AUTO** ボタンまたは「表示」メニューの「オートアジャスト実行」(🕮2-14) で画面の自動調整を実行する。
  - 「表示」メニューの「垂直位置」、「水平位置」(🕮2-13) を調節する。
  - 「入力」メニューの「解像度」(🕮2-18) を 2 台共同じ設定にする。

スタックメニュー設定

「スタック」メニューを使って連結モードの設定をします。

お知らせ

●単体モードでご使用になる場合は、本章を読んでいただく必要はありません。
●「連結モードの重要なお知らせ」をお読みください。(📖2-68, 69)

スタックメニューを表示する

カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」-「その他」メニューの「特別な設定」−「通信設定」−「スタック」(📖2-39)

画面に「スタック」メニューが表示されます。
連結モードの設定は本メニューで行います。

お知らせ

● 2 台のプロジェクターで以下の設定を確認してください。正しく設定されていない場合、「スタック」メニューは選択できません。
 -「設置」メニューの「スタンバイモード」(📖2-23) ： 「通常」
 -「その他」メニューの「特別な設定」−「通信設定」−「通信タイプ」(📖2-38) ： 「オフ」
 -「セキュリティ」メニューの「スタックロック」(📖2-47) ： 「オフ」

メイン、サブまたはオフを選択する

連結モードでご使用になる場合は、「メイン」または「サブ」を選択してください。「スタックモード」ダイアログで、片方のプロジェクターが「メイン」に設定され、他方のプロジェクターが「サブ」に設定されると連結モードが始動します。連結モードを使用しないときは「オフ」を選択してください。

1．カーソルボタン▲ / ▼ で「スタック」メニューの「スタックモード」を選択し、カーソルボタン ▶ を押すと「スタックモード」ダイアログが表示されます。
2．カーソルボタン▲ / ▼でダイアログの「メイン」、「サブ」または「オフ」を選択して下さい。
オフ : 連結モードを終了します。
メイン : プロジェクターをメイン機に設定します。
サブ : プロジェクターをサブ機に設定します。
3．カーソルボタン◀を押して前のメニューへ戻るか、カーソルボタン▶を押して設定を終了してください

お知らせ

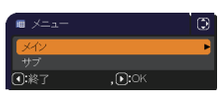
● 「スタックモード」の設定は、Web コントロール画面 (📖3-26) からも確認できます。「プロジェクター Web コントロール」-「プロジェクター状態」を選択し、「スタックモード」を確認してください。本項目は、スタックモードが「メイン」または「サブ」に設定されている時だけ表示されます。

（次ページにつづく）

お知らせ

●プロジェクターの操作パネルまたはリモコンのボタンが押されると、「メイン」と「サブ」を選択する画面が表示されます。以下の例のように操作したいプロジェクターを選択してください。
- **MENU** ボタンを押すと、「メイン」と「サブ」を選択する画面が表示されます。「メイン」を選択すると、メイン機の「簡単メニュー」または「詳細メニュー」が表示されます。
- **キーストン**、**フォーカス + / -**、**ズーム**、**ズーム + / -**、**レンズシフト**ボタンのどれかを押すと、「メイン」または「サブ」を選択するメニューが表示されます。「メイン」を選択するとメイン機の各メニューまたはダイアログが表示されます。
- **ENTER** ボタンを 3 秒押すと、「メイン」または「サブ」を選択するメニューが表示されます。「メイン」を選択するとメイン機の「ステータスモニター」を操作することができます。

●以下のような動作の制限があります。
- メイン機、サブ機共、オートパワーオフ機能と映像の静止機能が無効になります。
- ガンマ／色温度のカスタム調節テストパターンが表示されなくなります。
- PbyP、PinP 表示時、メニューなどの OSD を表示させると、一方のプロジェクターが黒表示となるため、画面が暗くなることがあります。



「メイン」および「サブ」の選択画面

メイン機のメニュー画面

●メイン機とサブ機の画面を合わせるため、以下の通り設定を変更してください。
-「初期画面」と「テンプレート」の設定を同じ設定にする。
- マイスクリーン (📖2-27) に同じ画面を登録する。
- 同じマイ イメージ (📖3-58)、および同じメッセンジャーテキスト (📖3-59) を登録する。

「メイン」および「サブ」の選択画面

メイン機のメニュー画面

●画面の位置がずれて画質が劣化する場合があります。画面の位置を調節する前に、「設置」メニューの「設置方法」(📖2-23) を設定してください。

● 2 台のプロジェクターの「暗証コードロック」が有効に設定されている場合、2f 台のプロジェクターの設定を解除してください。

●連結モードでは、重ねて使用する場合にサブ機のインジケータが見えにくくなるため、メイン機のインジケータ表示が通常と異なる動作になります。メイン機とサブ機の両方がスタンバイ状態の場合、リモコンの **ON** ボタンまたはメイン機の **STANDBY/ON** ボタンが押されると、メイン機が「スタックモード」の設定によりどちらのプロジェクターを点灯させるかを決めます。
- サブ機でランプの点灯準備中、メイン機の **POWER** インジケータは緑色に点滅します。
- メイン機のランプを点灯させた場合、メイン機の **POWER** インジケータは通常状態であれば緑色に点灯したままです。
- サブ機のランプを点灯させた場合、メイン機の **POWER** インジケータは橙色に点灯します。
- メイン機でエラーが起きた場合には、メイン機の **POWER** インジケータは赤色に点滅します。

サブ機の入力信号を選択する

1．カーソルボタン▲ / ▼で「スタック」メニューの「サブ入力チャンネル」を選択し、カーソルボタン ▶ を押すと「サブ入力チャンネル」ダイアログが表示されます。

2．カーソルボタン▲ / ▼でダイアログの「連動」または「固定（COMPUTER IN1）」を選択して下さい。
連動 : メイン機と連動して、メイン機と同じ入力端子に切り替えます。
固定 (COMPUTER IN1) : **COMPUTER IN1** 端子からの入力に固定されます。**COMPUTER IN1** 端子には、メイン機の **MONITOR OUT** 端子からの入力を接続してください。

3．カーソルボタン◀を押して前のメニューへ戻るか、カーソルボタン▶を押して設定を終了してください。

応用編

お知らせ

- PbyP/PinP モード使用の場合、「サブチャネル入力」は「連動」に設定されます。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定（COMPUTER IN1）」に設定すると、メイン機の、**COMPUTER IN1** ／ **2** 端子からの映像信号しか選択できなくなります。連結モードで使用中は、リモコンの入力端子を切り替えるボタン、またはメイン機の **INPUT** ボタンを押すと、映像入力信号を選択するダイアログが表示されます。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定（COMPUTER IN1）」に設定する場合は、メイン機の **COMPUTER IN1** ／ **2** 端子に映像信号を入力し、メイン機の **MONITOR OUT** 端子とサブ機の **COMPUTER IN1** 端子を接続してください。メイン機に入力された信号は、メイン機の **MONITOR OUT** 端子から出力され、サブ機の **COMPUTER IN1** 端子に入力されます。「サブ入力チャンネル」を「固定 (COMPUTER IN1)」に設定すると、メイン機での「モニターアウト」(📖2-23) の設定は無効になります。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定(COMPUTER IN1)」に設定すると、メイン機の**COMPUTER IN1** ／ **2** 端子(とサブ機の **COMPUTER IN1** 端子）にビデオ信号を入力できるようになります。**COMPUTER IN1** ／ **2** 端子にビデオ信号を入力する場合は、「入力」メニューの「ビデオフォーマット」(📖2-16) および「COMPUTER IN」(📖2-17) でビデオ信号について設定してください。

連結モードのメニューを終了する

連結モードのメニュー操作を終了する前に、「スタック」メニューの全ての設定を確認して下さい。「スタック」メニュー内の各ダイアログは、カーソルボタン◀を押して「スタック」メニューへ戻ることができます。以下を参考に連結モードのメニュー操作を終了してください。

「スタック」メニュー

各設定を変更した後にカーソルボタン◀（「戻る」機能として動作）を押すと、確認ダイアログが表示されます。

- ●カーソルボタン▶（「はい」機能として動作）を押すと、設定を保存し、ダイアログを閉じます。設定が更新される間、一旦黒画面になります。しばらくお待ちください。
- ●カーソルボタン◀（「いいえ」機能として動作）を押すと、設定を保存せずに「通信設定」(📖2-38) へ戻ります。

「スタック」メニューより呼び出されたダイアログ

各設定を変更した後にカーソルボタン▶（終了機能として動作）を押すと、確認ダイアログが表示されます。

- ●カーソルボタン▶（「はい」機能として動作）を押すと、設定を保存し、ダイアログを閉じます。設定が更新される間、一旦黒画面になります。しばらくお待ちください。
- ●カーソルボタン◀（「いいえ」機能として動作）を押すと、設定を保存せずにダイアログを閉じます。

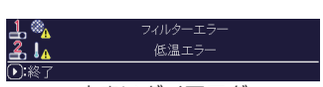
連結モードの重要なお知らせ

ここではメイン機およびサブ機を設定するにあたり、メニュー操作の説明以外の重要な情報を記載しています。よくお読みになり、連結モードをご使用ください。

●連結モードでご使用になるには、片方のプロジェクターをメイン機に設定し、他方のプロジェクターをサブ機に設定する必要があります。
●連結モード設定が完了すると、サブ機は、操作パネルの **STANDBY/ON** ボタン以外は直接操作できなくなります。サブ機の操作はメイン機の操作パネルを使用して行います。リモコンもメイン機に向けて操作してください。
●サブ機の操作パネルの **STANDBY/ON** ボタンでは、メイン機、サブ機共点灯させることはできません。また、サブ機の操作パネルの **STANDBY/ON** ボタンでランプを消灯させるには、3 秒以上押し続けてください。本操作により、メイン機、サブ機ともにランプを消灯します。
●メイン機はリモコンで操作することができますが、サブ機はリモコンで操作できないため、リモコンはメイン機に向けて操作してください。
●各ステータスモニターは、メイン機およびサブ機それぞれの操作パネルから操作することができます。点灯中のプロジェクターのモニターのみ、リモコンで操作することができます。
●有線リモコンをご使用になる場合は、メイン機にケーブルを接続してください。
●連結モードでご使用になる場合は、「オートサーチ」(🕮2-32) 機能は無効になります。
●サブ機をネットワークに接続しても、Web コントロールでサブ機の電源を入れることはできません。また、Web コントロールのリモートコントロール (🕮3-45) でサブ機は操作できません。
●メッセンジャー機能（🕮3-59）で、優先度の高いテキストデータを、強制的に電源を入れて表示しようとすると、連結モードが強制解除され、メッセンジャーテキストを表示します。もう一度連結モードに設定するには、「スタックモード」でメイン機を「メイン」に設定し直すか、いったん 2 台共電源を切って、電源を入れ直してください。
●連結モード設定が完了すると、以下の設定・操作が共通になります。
- 画面の拡大機能
-「アスペクト」(🕮2-12)、「オーバースキャン」(🕮2-13)、「COMPUTER IN」(🕮2-17)、「OSD メッセージ」(🕮2-28)、
「マイボタン」(🕮2-34)、「テンプレート」(🕮2-30)、「シャッター」(🕮1-52)、「シャッタータイマー」(🕮2-33)、「2 画面表示」(🕮2-49 ～ 52)、エッジブレンディング (🕮1-46 ～ 49)、カラーホイール (🕮2-10)

●連結モード設定が完了すると、以下の機能は無効になります。
-「スタンバイモード」(🕮2-23)
-「オートサーチ」(🕮2-32)
-「ダイレクトパワーオン」(🕮2-33)
-「オートパワーオフ」(🕮2-33)
-「通信タイプ」(🕮2-38)
-「チャンネルスキップ」（🕮2-32）
-「ランプモード」（🕮2-20）
-「交互点灯」（🕮2-20）

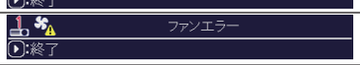
●連結モードでは、**LAN** 端子からの映像信号を選択できません。
● PbyP/PinP モードを使用している場合、「サブ入力チャンネル」（🕮2-66）は「連動」に設定されます。
●連結モードで使用中に、何らかのエラーが起きると、アイコン付のメッセージが画面に表示されます。
このメッセージは、約 20 秒間何もボタン操作が無ければ、小さなアイコンダイアログに変化します。アイコンダイアログが表示されているときにカーソルボタン◀を押すと、元のメッセージダイアログが表示されます。
アイコンに添えられた番号、「1」はメイン機、「2」はサブ機を示します。
メッセージが表示されたら、次ページの表に従って処置してください。処置後も同じメッセージが表示されたり、下表に記載されていないメッセージが表示された場合は、販売店にご相談ください。



大きいダイアログ

小さい
ダイアログ

（次ページにつづく）

メッセージ	説　明
	ランプカバーがきちんと装着されていません。ランプカバーを装着し直してください。
	ランプが点灯しません。 ランプおよび本機内部が高温になっている可能性があります。
	ランプ -1 が点灯しません。
	ランプ -2 が点灯しません。
	冷却ファンが動作していません。
	本機内部が高温になっています。
	本機内部の温度が上がっています。 通風口の周囲に障害物がないか確認し、エアーフィルターをお手入れしてください。
	エアーフィルターの使用時間が「フィルター掃除通知」（📖2-22）での通知設定時間を超えました。
	本機の内部温度が低すぎます。
	シャッターが動作していません。
	レンズシフトが動作していません。
	カラーホイールまたはカラーホイールの切り替えが動作していません。
	湿度が高すぎます。
	上記以外のエラー。

●何らかの理由でプロジェクターの電源ケーブルを抜く、あるいはテーブルタップのスイッチなどで電源を切るときは、次に電源を入れたときに正しく連結モードで起動させるため、片方だけでなく、2 台両方の電源を切ってください。
● 2 台のプロジェクターにセキュリティ（暗証コードロック機能 (📖2-44)）が設定されている場合、メイン機のパスワードまたは暗証コードを入力した後にサブ機のパスワードまたは暗証コードを入力してください。
●片方のプロジェクターにのみセキュリティ（暗証コードロック機能 (📖2-44)）が設定されている場合、セキュリティを設定しているプロジェクターのパスワードまたは暗証コードを入力してください。

ケーブルを接続する

2 台のプロジェクターの画面を重ねるためには、メイン機とサブ機に同じ信号を入力する必要があります。ここでは信号の入力方法について説明します。必要に応じて方法を選択してください。

お知らせ

●単体モードでご使用になる場合、メイン機およびサブ機の設定がないため、以下ではメイン機を片方のプロジェクター、サブ機を他方のプロジェクターとしてお読みください。
●プロジェクターへのケーブルの接続については「他の機器に接続する」(📖1-19 ～ 23) を、入出力端子の仕様については「入出力信号端子」(📖4-4 ～ 8) をご参照ください。

RS-232C ケーブルを接続する

連結モードでご使用になる場合、2 台のプロジェクターの **CONTROL** 端子を RS-232C（クロス）ケーブルで接続してください (📖2-58)。単体モードでご使用の場合はこの接続は必要ありません。

お知らせ

●連結モードで使用中にメイン機とサブ機を接続する RS-232C ケーブルが外れてしまうと、自動的に単体モードに切り替わります。再度連結モードに設定するには、ケーブルを外したまま 10 秒以上置いてから、いったん 2 台の電源を切って冷まし、再度 RS-232C ケーブルを接続して電源を入れてください。

（次ページにつづく）

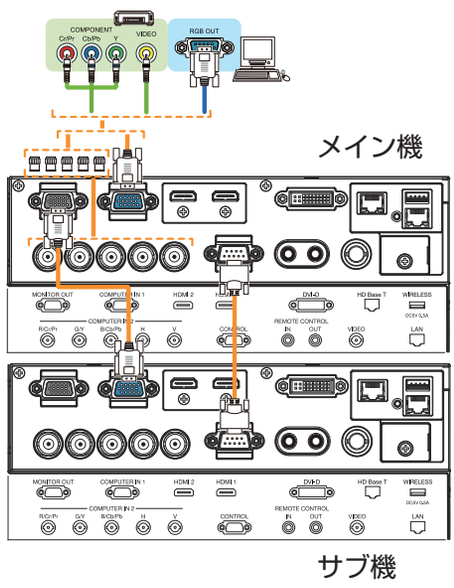
信号ケーブルを接続する

サブ機へ信号を入力するには、下記２つの方法があります。
- メイン機の MONITOR OUT 端子からサブ機へ信号を入力する。
- 2 台にそれぞれ同じ信号を入力する。

メイン機からサブ機へ信号を入力する

1. メイン機の MONITOR OUT 端子とサブ機の COMPUTER IN1 端子を、ケーブルで接続してください。

2. 映像信号を出力する外部機器を、メイン機の入力端子のいずれかに接続してください。



連結モードの接続例

お知らせ 連結モードの場合

●連結モードでは、メイン機の COMPUTER IN1 ／ 2 端子のみ入力端子として使用できます。他の端子は映像信号入力端子としては使用できません。
- コンポーネントビデオ信号を COMPUTER IN1 ／ 2 端子に入力することができます。
- ビデオ信号は、COMPUTER IN1 ／ 2 の Y 端子に入力してください。

お知らせ 単体モードの場合

● MONITOR OUT 端子からは COMPUTER IN1 ／ 2 端子から入力された映像信号のみ出力できます。他の入力端子を使用する場合は、2 台のプロジェクターにそれぞれ映像信号を入力してください。

メイン機とサブ機へそれぞれ信号を入力する

1. 信号分配器などを使用して映像機器の出力信号を 2 つに分配してください。

2. 映像機器の出力をメイン機およびサブ機の同じ入力端子へ接続して下さい。

お知らせ 連結モードの場合

●連結モードでは、LAN 端子をメイン機の入力端子として使用することはできません。

お知らせ 単体モードの場合

●全ての入力端子を使用することができます。2 台のプロジェクターに同じ信号を入力してください。

メニューを使って入力端子の設定をする

メニュー操作の準備

単体モードでご使用になる場合、リモコンの入力端子を選択するボタンまたは操作パネルの **INPUT** ボタンを押すと、ケーブルを接続する端子を選択することができます。MONITOR OUT の設定については「設置」メニューの「モニターアウト」(📖2-23) をご参照ください。
単体モードをご使用の場合の設定は終了です。
連結モードでご使用になる場合、連結モードのメニュー操作に関する全ての設定と変更はメイン機で行ってください。メイン機は連結モードの入力設定に従って動作します。

メイン機の動作状態を確認する

連結モードでご使用になる場合、連結モードのメニュー操作に関する全ての設定と変更はメイン機で行ってください。連結モードのメニューを操作する前に、メイン機が動作していることを確認してください。

1. リモコンの **MENU** ボタンを押してください。
2. 右図のようなメニューダイアログが現れた場合は、2 台のプロジェクターには「同時点灯」モードが設定されています。「メニューを設定する」(📖2-73) へ進んでください。

3. カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」-「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「スタック」(📖2-39)
「スタック」メニューが表示されます。

4. 「スタック」メニューで「スタックモード」の設定を確認して下さい。
-「メイン」が表示されれば、メイン機として動作しています。
「メニューを設定する」(📖2-73) へ進んでください。
-「サブ」が表示されれば、メイン機は電源が切れており、サブ機が動作しています。

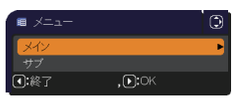
（次ページにつづく）

メニューを設定する

連結モードでご使用になる場合は、以下をお読みください。
メイン機を経由してサブ機へ映像信号を入力する場合、コンピューター信号とビデオ信号（コンポーネントビデオ信号またはビデオ信号）の場合で操作が異なります。

メイン機からサブ機へ映像信号を入力する - コンピューター信号

1. 「スタック」メニューが既に表示されている場合は手順 3 へ進んでください。
   表示されていない場合はリモコンの **MENU** ボタンを押してください。「メニュー」ダイアログが表示されたら、カーソルボタン▲ / ▼ で「メイン」を選択し、カーソルボタン ▶ を押してください。メニューが表示されます。「メニュー」ダイアログが表示されない場合、「スタック」メニューが表示されます。



2. カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で以下のメニューに進んでください。
   「詳細メニュー」-「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「スタック」(📖2-39)
   「スタック」メニューが表示されます。

3. カーソルボタン▲ / ▼で「サブ入力チャンネル」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して「サブ入力チャンネル」ダイアログを表示させてください。

4. カーソルボタン▲ / ▼で「固定（COMPUTER IN1)」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了してください。

5. リモコンの入力端子を選択するボタンか、またはメイン機の **INPUT** ボタンを押すと、「メイン入力チャンネル」ダイアログが表示されます。
   カーソルボタン▲ / ▼で信号を入力する端子を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了させてください。

お知らせ

- 「サブ入力チャンネル」を「固定（COMPUTER IN1)」に設定すると、「モニターアウト」(📖2-23) の設定は無効になります。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定（COMPUTER IN1)」に設定すると、**COMPUTER IN1** ／ **2** 端子からの映像信号しか選択できなくなります。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定（COMPUTER IN1)」に設定すると、リモコンの入力端子を選択するボタン、またはメイン機の **INPUT** ボタンが押された場合、入力信号を選択するダイアログが表示されます。

（次ページにつづく）

メイン機からサブ機へ映像信号を入力する
- ビデオ信号（コンポーネントビデオ信号またはビデオ信号）

1. 「スタック」メニューが既に表示されている場合は手順 3 へ進んでください。表示されていない場合はリモコンの **MENU** ボタンを押してください。「メニュー」ダイアログが表示されたら、カーソルボタン▲ / ▼ で「メイン」を選択し、カーソルボタン ▶ を押してください。メニューが表示されます。「メニュー」ダイアログが表示されない場合、「スタック」メニューが表示されます。

2. カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で「COMPUTER IN」(📖2-17) ダイアログを表示させてください。

3. **COMPUTER IN1** ／ **2** 端子へコンポーネントビデオ信号を入力する場合は、「オート」に設定してください。その後で、カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で「終了」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了させてください。
COMPUTER IN1 ／ **2** 端子へビデオ信号を入力する場合は、「VIDEO」に設定してください。ビデオフォーマットを設定する必要がある場合は、カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で「戻る」を選択し、カーソルボタン◀を押して「入力」メニューを表示させてください。ビデオフォーマットを設定する必要がなければ、カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で「終了」を選択し、カーソルボタン ▶を押して設定を終了させてください。

4. 「入力」メニューの「ビデオフォーマット」を選択するため、「ビデオフォーマット」ダイアログを表示させてください。
「オート」または入力するビデオ信号に適切なフォーマットを選択してください。
その後、カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で「終了」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了させてください。

(次ページにつづく)

メイン機とサブ機へそれぞれ信号を入力する

1. 「スタック」メニューが既に表示されている場合は手順 3 へ進んでください。表示されていない場合はリモコンの **MENU** ボタンを押してください。「メニュー」ダイアログが表示されたら、カーソルボタン▲ / ▼ で「メイン」を選択し、カーソルボタン ▶ を押してください。メニューが表示されます。「メニュー」ダイアログが表示されない場合、「スタック」メニューが表示されます。

2. カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」-「その他」メニューの「特別な設定」−「通信設定」−「スタック」(📖2-39)
「スタック」メニューが表示されます。

3. カーソルボタン▲ / ▼で「サブ入力チャンネル」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して「サブ入力チャンネル」ダイアログを表示させてください。

4. カーソルボタン▲ / ▼で「連動」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了してください。

5. リモコンの入力端子を選択するボタンまたはメイン機の **INPUT** ボタンを押すと、「メイン入力チャンネル」ダイアログが表示されます。
カーソルボタン▲ / ▼で信号を入力する端子を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了させてください。

お知らせ

- 「サブ入力チャンネル」で「連動」を選択した場合、メイン機またはサブ機の入力端子はもう片方のプロジェクターと同じ端子に自動的に設定されます。
- 「サブ入力チャンネル」で「連動」を選択した場合、**LAN** 端子は選択できません。
- 「サブ入力チャンネル」で「連動」を選択した場合、リモコンの入力端子を選択するボタン、またはメイン機の **INPUT** ボタンが押されると、入力信号を選択するダイアログが表示されます。

(次ページにつづく)

スケジュール機能の制限について

連結モードで使用中は、以下のように Web コントロールで登録、実行するスケジュール機能が、一部制限を受けます。コマンドの内容については、「スケジュール設定」(📖3-37 〜 39) をご参照ください。単体モードの場合、制限はありません。
連結モードおよび単体モードのどちらをご使用の場合でも、使用前にスケジュール設定をご確認ください。
スタック機能を使用することで設定が変更されていることがあります。
連結モードに関する制限については下表をご覧ください。単体モードをご使用の場合は、本章を読んでいただく必要はありません。

メイン機の制限

機能	電源状態	メイン機	オン	オフ
		サブ機	オン	オフ
電源　オン			1	1
電源　オフ			1	1
入力ソース			2	2
マイ イメージ			1	3
メッセンジャー			1	3
ブランク			1	3
エコ			1	1

サブ機の制限

機能	電源状態	メイン機	オン	オフ
		サブ機	オン	オフ
電源　オン			4	4
電源　オフ			1	1
入力ソース			2	2
マイ イメージ			1	3
メッセンジャー			1	3
ブランク			1	3
エコ			1	1

1: 連結モード動作中でもメニューおよび Web コントロールで登録、実行することができます。

2: スケジュール機能によって切り替える端子が選択可能であれば、スケジュールは実行されます。選択不可である場合はスケジュールは実行されません。

3: 本機のランプがオフの時は、マイ イメージおよびメッセンジャーは実行されません。

4: 連結モード動作中は、メニューおよび Web コントロールでの登録も実行もできません。

お知らせ

- スケジュールが実行できなかった場合は、エラーの自動通知が設定されていれば、スケジュール実行エラーが通知されます (📖3-65)。
- メイン機で電源オンのコマンドが実行されると、「ランプモード」(📖2-20) の設定に従って 2 台とも、あるいはどちらかのみの電源が入ります。
- どちらかのプロジェクターのメニュー画面を表示していると、もう片方のプロジェクターでは、マイ イメージ、およびメッセンジャーのコマンドは実行されません。
- 表中の「電源オフ」は、連結モードの設定に従って、リモコンの **STANDBY** ボタンまたはメイン機の **STANDBY/ON** ボタンを押したときにランプを消灯してスタンバイ状態になることを示します。
- 連結モードではサブ機のスケジュール機能を使って電源オンすることはできません。必要であればメイン機のスケジュールに電源オンのイベントを登録してください。

故障かなと思ったら

以下のような現象は故障ではない場合があります。
修理をご依頼になるまえに、下表に従ってご確認のうえ、必要に応じて処置してください。
処置後も現象が改善しない場合は販売店またはお客様ご相談窓口 (📖4-57) にご相談ください。

故障と間違いやすい現象

現象	確認内容	参照頁
連結モードが正しく動作しない	メイン機およびサブ機の電源コードは正しく接続されていますか？ 電源コードの接続状態を確認し、正しく接続してください。 連結モードでご使用になる場合、メイン機およびサブ機の両方に電源を供給する必要があります。どちらか片方にしか電源が供給されていない場合、連結モードは動作しません。	📖1-26
	メイン機およびサブ機に RS-232C ケーブルは正しく接続されていますか？ RS-232C ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。 連結モードでご使用になる場合、メイン機およびサブ機を RS-232C クロスケーブルで接続する必要があります。RS-232C ケーブルが接続されていない場合、メイン機はサブ機を制御できません。	📖2-58
	連結モードのメニュー設定は正しくされていますか？ メイン機とサブ機の「スタック」メニューの設定を確認してください。 連結モードでご使用になる場合、片方のプロジェクターをメイン機に設定し、もう片方をサブ機に設定する必要があります。	📖2-63
	信号ケーブルが正しく接続されていますか？ ケーブルの接続、およびメニューの端子設定が正しくされているかを確認してください。	📖2-70 ～ 75
メイン機とサブ機が同時に動作しない	メイン機およびサブ機に RS-232C ケーブルは正しく接続されていますか？ RS-232C ケーブルを正しく接続し、メイン機の電源を再度入れてください。	📖2-58
「スタック」メニューが選択できない	メイン機およびサブ機に連結モードの設定はされていますか？ メイン機およびサブ機において、以下の設定を確認してください。 -「設置」メニューの「スタンバイモード」(📖2-23) を「通常」に設定する。 -「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「通信タイプ」(📖2-38) を「オフ」に設定する。 -「セキュリティ」メニューの「スタックロック」(📖2-47) を「オフ」に設定する。	📖2-23, 38, 47
リモコンを使ってプロジェクターを操作できない	サブ機に向けてリモコン操作をしていませんか？ 連結モードでは、メイン機のみリモコン信号受信が可能です。リモコンを使用する場合はメイン機に向けて使用してください。	📖2-68
2 台のプロジェクターの画像のフォーカス（焦点）が合わない、またはうまく重ならない	2 台のプロジェクターの画像が正しく重なっていません。 画面のサイズ（ズーム）とフォーカス、画面の位置（レンズシフト）を調節してください。 必要であれば「コーナーフィット」および「キーストン」を調節してください。	📖1-40 📖1-44, 45
微調整をしても 2 台のプロジェクターからの画像が重ならない	2 台の画像の調節で異なっている点はありませんか？ 問題解決のために以下の方法を試してみてください。 - リモコンの **AUTO** ボタンを押すか、それぞれのプロジェクターで「オートアジャスト実行」を行い、画面の自動調整をしてください。 - それぞれのプロジェクターの「垂直位置」および「水平位置」を調節してください。 -「入力」メニューの「解像度」を確認し、メイン機とサブ機で異なっている場合は同じ設定にしてください。	📖2-14 📖2-13 📖2-18